

# 令和5年度 第1回 山梨県教員育成協議会

## <資料一覧>

### 【配付資料】

- (資料1) 【改定】やまなし教員等育成指標
- (資料2) 令和5年度 山梨県総合教育センター研修体系、研修計画・研修一覧
- (資料3) 研修履歴の記録と活用について

### 【参考資料】

- (参考1) 「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～答申 概要版 (R4.12 中央教育審議会)
- (参考2) 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン (R4.8 R5.3 一部修正 文部科学省)
- (参考3) 公立学校教員採用選考試験の早期化・複数回実施等について 方向性の提示 (R5.5.31 文部科学省)

# やまなし教員等育成指標の改定について

## 《これまでの指標》

- 教職としての素養と専門性の2本柱
- 教職としての専門性を教員のライフステージ（第1～第3）ごとに設定

### 【専門性】

- ・学習指導、生徒指導、キャリア教育、特別支援教育、学校運営、新たな教育課題（グローバル化、情報教育、人権教育）

## 背景・課題

- ◆ Society5.0時代や先行き不透明な予測困難な時代
- ◆ 子どもたちの多様化（特別支援、外国人児童生徒、貧困、いじめ、不登校など）
- ◆ 教員の長時間勤務、多忙化 → 働き方改革

## 《やまなし教員等育成指標の改定のポイント》

- 教員主体の授業から児童生徒主体の授業への転換（個別最適な学び、協働的な学び、ICTの活用などの視点）
- 全ての子供の学ぶ機会やチャンスを潰さない教育（誰一人取り残さない視点⇒特別な配慮、合理的配慮、いじめ等問題行動、ヤングケアラー）
- 研修の強化（外部と連携した研修）
- 校長のマネジメント力の強化

## 改定やまなし教員等育成指標の概要

### 【山梨県が求める教員像】

ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、**「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」**を育てる教員

### 【教員として必要な素養】

豊かな人間性と人権意識、優れたコミュニケーション能力、崇高な使命感と責任感、高い倫理観と規範意識、常に学び続ける力、ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

### 【教員として必要な専門性（ステージごと）】

#### 《ポイント》

#### 【重点項目】教員主体の授業から児童生徒主体の授業への転換

- ・学習者中心の授業を実践し、**「主体的・対話的で深い学び」**の実現に取り組む（例：よのなか科）
- ・**「個別最適な学び」と「協働的な学び」**の授業を実践している
- ・一人一人の特性を理解し、児童生徒の可能性を引き出す**集団づくり**を行う

#### 【重点項目】全ての子供の学ぶ機会やチャンスを潰さない教育

- ・児童生徒の気持ちに寄り添い、児童生徒の理解を深め、課題解決に向け取り組んでいる
- ・合理的配慮や教育的ニーズに応じた指導を実践している
- ・ヤングケアラーや不登校等特別な配慮や支援を要する児童生徒に対し、関係者と連携、協働し適切な支援をしている。

#### 【専門性に関する項目】

- ・児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を同僚と協働し育成している
- ・教員として学び続け、広い視野をもって自己研鑽を積んでいる

## 改定やまなし校長指標の概要

### 【山梨県の校長が目指す姿】

リーダーシップを発揮し、信頼される学校経営を行う校長

### 【校長として必要な素養、専門性】

#### 《改定のポイント》

- ・マネジメント力の強化
- ・アセスメント力の強化
- ・ファシリテーション力の強化

## 今後の取組

- 育成指標活用ガイドの作成・活用
  - ・指標の内容について具体的に解説
- 育成指標に基づく研修体系の構築
  - ・外部講師も活用した研修の立案
- 研修履歴システム
  - ・研修履歴を活用した管理職による資質向上に関する指導助言
- 自己観察書の活用
  - ・資質能力の向上に向けた振り返り

# 【改定】やまなし教員育成指標

教員として必要な専門性を重点項目ごとに整理

## 山梨県が求める教員像

ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

### 教員として必要な素養（全ステージ）

豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力 **ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力**

ステージ	採用時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
		実践力養成期	専門性充実期・協働力養成期	指導力・協働力完成期
各ステージにおいて目指す姿		実践力を磨き、教員としての基礎を築くとともに、資質能力の向上を目指している	専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化させるとともに、資質能力の向上を図っている	豊富な経験と広い視野から指導力・協働力を発揮して学校運営を支えるとともに、後進を育成している
<b>【重点項目】 教員主体の授業から児童生徒主体の授業への転換</b>				
学習指導（授業実践）	学習指導要領における趣旨を把握し、各教科等の目標や指導内容、評価方法を理解している。	学習者中心の授業を実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組んでいる。 <b>（例：よのなか科など）</b>	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業を実践している。	学びに向かう力の育成や人間性を涵養する授業の実践において、指導的役割を果たしている。
学習指導（学習評価・授業改善）		指導と評価の一体化に取り組むとともに、児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究や授業改善を行っている。	適切な評価を行うとともに、学習者中心の授業に向けた改善に取り組んでいる。	適切な評価を基にした授業改善において、指導的役割を果たしている。
生徒指導（学級経営）	各発達段階における心理的特性を把握し、生徒指導の重要性を理解している。	児童生徒一人一人の特性を理解し、よりよい人間関係を築く土台となる集団づくりを行っている。	集団の課題に対し、同僚と協働し解決を図り、児童生徒の可能性を引き出す集団づくりを行っている。	自校の「育てたい児童生徒像」を意識した集団づくりにおいて、指導的役割を果たしている。
ICTや情報・教育データの活用	学校におけるICTの活用の意義や情報・教育データの重要性を理解している。	授業や校務等にICTを活用し、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成する実践を行っている。	ICTや情報・教育データを適切に活用し、校務の効率化及び児童生徒の学習等の改善を図っている。	ICTや情報・教育データの活用により、自校の課題を明確にし、改善に向けて指導的役割を果たしている。
<b>【重点項目】 全ての子供の学ぶ機会やチャンスをつぶさない教育</b>				
生徒指導（児童生徒理解）	各発達段階における心理的特性を把握し、生徒指導の重要性を理解している。	日々の声かけや面談により、児童生徒の気持ちに寄り添い、信頼関係を構築している。	同僚と協働し、観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め、課題解決に向け取り組んでいる。	児童生徒の課題を多面的に把握し、課題解決に向けて組織的な取組を推進している。
生徒指導（特別支援教育）		児童生徒の実態を把握し、合理的配慮や教育的ニーズに応じた適切な指導を実践している。	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。	医療や福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。
生徒指導（いじめ等への対応）	不登校や子供の貧困、ヤングケアラー、外国籍児童生徒等、児童生徒を取り巻く多様な背景があることを理解している。	いじめ等問題行動の未然防止・早期発見に努め、管理職や関係職員に報告・相談し、早期に対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向け、関係機関と連携しながら、組織的に対応している。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		児童生徒の個々の状況や背景を理解し、スクールカウンセラー等からの助言を受け、適切な支援をしている。	児童生徒の個々の状況や背景を分析し、スクールカウンセラー等と連携・協働し、適切な支援をしている。	福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。
<b>専門性に関する項目</b>				
学習指導（授業計画）	学習指導要領における趣旨を把握し、各教科等の目標や指導内容、評価方法を理解している。	児童生徒の実態を理解し、学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を立てている。	児童生徒の実態に応じて、各教科等の専門的知識を生かし、指導計画を立てている。	教科等の高度な専門性を生かした指導計画の立案において、指導的役割を果たしている。
生徒指導（道徳教育）	各発達段階における心理的特性を把握し、生徒指導の重要性を理解している。	児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導を行っている。	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	自校の教育活動全体を通じて、児童生徒の道徳性を高めるよう組織的な取組を推進している。
生徒指導（人権教育）		人権を尊重することの意義や必要性を認識し、児童生徒一人一人を尊重した指導を行っている。	多様性を受容し、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。	人権が尊重された学校づくりをするために、家庭・地域と協働しながら組織的な取組を推進している。
生徒指導（キャリア教育）	学校運営における今日的課題を把握し、学校運営の重要性を理解している。	キャリア・パスポートを活用し、将来の在り方や生き方を考えさせる指導を行っている。	児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を、同僚と協働し育成している。	地域や産業界と連携し、学校全体による組織的な取組において、指導的役割を果たしている。
学校運営（教育課程）		自校の教育目標と教育課程を理解し、効果的な指導の実現を図っている。	自校の教育目標達成に向け、カリキュラム・マネジメントに基づいた教育課程の編成・実施に参画している。	自校の実態に応じて改善を図ることや、「社会に開かれた教育課程」の編成・実施において、指導的役割を果たしている。
学校運営（連携・協働）	学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。	自らの役割を理解し、同僚と協働しながら、その責任を果たしている。保護者等と望ましい信頼関係を構築し、課題に対応している。	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。	チームとしての学校という視点を持ち、連携・協働による課題解決をリードするとともに、効果的なOJTを推進している。
学校運営（学校安全）		学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。	学校安全計画や危機管理マニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。	安全管理に精通し、学校安全計画や危機管理マニュアル等の改善が推進されるよう、指導的役割を果たしている。
学校運営（働き方改革・業務改善）	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、広い視野をもって自己研鑽を積んでいる。	校務に積極的に参加するとともに、勤務時間を意識した働き方を行っている。	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。	学校組織マネジメントの視点から、組織全体を俯瞰し、業務の効率化の具体的な提案と推進を図っている。
自ら学ぶ姿勢		教員として学び続ける重要性を理解している。	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、広い視野をもって自己研鑽を積んでいる。	ミドルリーダーとして、積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。

教員として必要な専門性

※ 第1ステージは採用から5年目まで、第2ステージは6年目～20年目まで、第3ステージは21年目～退職までを目安としてイメージしている。

# 【改定】やまなし教員育成指標

教員として必要な専門性を各場面ごとに整理

## 山梨県が求める教員像

ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

### 教員として必要な素養（全ステージ）

豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力 **ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力**

ステージ	採用時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
		実践力養成期	専門性充実期・協働力養成期	指導力・協働力完成期
各ステージにおいて目指す姿		実践力を磨き、教員としての基礎を築くとともに、資質能力の向上を目指している	専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化させるとともに、資質能力の向上を図っている	豊富な経験と広い視野から指導力・協働力を発揮して学校運営を支えるとともに、後進を育成している
学習指導	授業計画	児童生徒の実態を理解し、学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を立てている。	児童生徒の実態に応じて、各教科等の専門的知識を生かし、指導計画を立てている。	教科等の高度な専門性を生かした指導計画の立案において、指導的役割を果たしている。
	授業実践	学習指導要領における趣旨を把握し、各教科等の目標や指導内容、評価方法を理解している。	<b>「個別最適な学び」と「協働的な学び」</b> の一体的な充実に向けた授業を実践している。	<b>学びに向かう力の育成</b> や人間性を涵養する授業の実践において、指導的役割を果たしている。
	学習評価・授業改善	指導と評価の一体化に取り組むとともに、児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究や授業改善を行っている。	適切な評価を行うとともに、 <b>学習者中心の授業</b> に向けた改善に取り組んでいる。	適切な評価を基にした授業改善において、指導的役割を果たしている。
生徒指導	学級経営	<b>児童生徒一人一人の特性を理解</b> し、よりよい人間関係を築く土台となる集団づくりを行っている。	集団の課題に対し、同僚と協働し解決を図り、 <b>児童生徒の可能性を引き出す集団づくり</b> を行っている。	自校の「育てたい児童生徒像」を意識した集団づくりにおいて、指導的役割を果たしている。
	児童生徒理解	日々の声かけや面談により、 <b>児童生徒の気持ちに寄り添い</b> 、信頼関係を構築している。	同僚と協働し、 <b>観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め</b> 、課題解決に向け取り組んでいる。	児童生徒の課題を多面的に把握し、課題解決に向けて組織的な取組を推進している。
	道徳教育	児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導を行っている。	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	自校の教育活動全体を通じて、児童生徒の道徳性を高めるよう組織的な取組を推進している。
	人権教育	各発達段階における心理的 <b>特性を把握し</b> 、生徒指導の重要性を理解している。	人権を尊重することの意義や必要性を認識し、児童生徒一人一人を尊重した指導を行っている。	人権が尊重された学校づくりをするために、家庭・地域と協働しながら組織的な取組を推進している。
	特別支援教育	児童生徒の実態を把握し、 <b>合理的配慮</b> や教育的ニーズに応じた適切な指導を実践している。	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。	<b>医療や福祉等の関係機関との連携・協働</b> を推進し、組織的な校内支援体制の充実に図っている。
	いじめ等への対応	<b>いじめ等問題行動の未然防止・早期発見</b> に努め、管理職や関係職員に報告・相談し、早期に対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向け、 <b>関係機関と連携しながら、組織的に対応</b> している。
	キャリア教育	キャリア・パスポートを活用し、将来の在り方や生き方を考えさせる指導を行っている。	<b>児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力</b> を、同僚と協働し育成している。	地域や産業界と連携し、学校全体による組織的な取組において、指導的役割を果たしている。
	学校運営	教育課程	自校の教育目標と教育課程を理解し、効果的な指導の実現を図っている。	自校の教育目標達成に向け、 <b>カリキュラム・マネジメント</b> に基づいた教育課程の編成・実施に参画している。
連携・協働		自らの役割を理解し、同僚と協働しながら、その責任を果たしている。保護者等と望ましい信頼関係を構築し、課題に対応している。	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。	チームとしての学校という視点を持ち、連携・協働による課題解決をリードするとともに、効果的なOJTを推進している。
学校安全		学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。	学校安全計画や危機管理マニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。	安全管理に精通し、学校安全計画や危機管理マニュアル等の改善が推進されるよう、指導的役割を果たしている。
働き方改革・業務改善		校務に積極的に参加するとともに、 <b>勤務時間を意識した働き方</b> を行っている。	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。	<b>学校組織マネジメント</b> の視点から、組織全体を俯瞰し、業務の効率化の具体的提案と推進を図っている。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<b>不登校や子供の貧困、ヤングケアラー、外国籍児童生徒等</b> 、児童生徒を取り巻く多様な背景があることを理解している。	児童生徒の個々の状況や背景を理解し、スクールカウンセラー等からの助言を受け、適切な支援をしている。	福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実に図っている。	
ICTや情報・教育データの活用	学校におけるICTの活用の意義や情報・教育データの重要性を理解している。	授業や校務等にICTを活用し、児童生徒の情報モラルを含めた <b>情報活用能力を育成</b> する実践を行っている。	ICTや情報・教育データを適切に活用し、 <b>校務の効率化</b> 及び児童生徒の学習等の改善を図っている。	
自ら学ぶ姿勢	<b>教員として学び続ける</b> 重要性を理解している。	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、 <b>広い視野をもって自己研鑽</b> を積んでいる。	ミドルリーダーとして、積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。	

※ 第1ステージは採用から5年目まで、第2ステージは6年目～20年目まで、第3ステージは21年目～退職までを目安としてイメージしている。

# 【改定】 やまなし養護教諭育成指標

## 山梨県が求める教員像

ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

### 教員として必要な素養（全ステージ）

豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力 **ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力**

ステージ	採用時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	
		実践力養成期	専門性充実期・協働力養成期	指導力・協働力完成期	
各ステージにおいて目指す姿		実践力を磨き、教員としての基礎を築くとともに、資質能力の向上を目指している	専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化させるとともに、資質能力の向上を図っている	豊富な経験と広い視野から指導力・協働力を発揮して学校運営を支えるとともに、後進を育成している	
教員として必要な専門性	生徒指導	児童生徒理解	日々の声かけや面談により、 <b>児童生徒の気持ちに寄り添い</b> 、信頼関係を構築している。	同僚と協働し、 <b>観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め</b> 、課題解決に向け取り組んでいる。	児童生徒の課題を多面的に把握し、課題解決に向けて組織的な取組を推進している。
		道徳教育	児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導を行っている。	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	自校の教育活動全体を通じて、児童生徒の道徳性を高めるよう組織的な取組を推進している。
		人権教育	各発達段階における心理的特性を把握し、生徒指導の重要性を理解している。	人権を尊重することの意義や必要性を認識し、児童生徒一人一人を尊重した指導を行っている。	<b>多様性を受容し</b> 、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。
		特別支援教育	児童生徒の実態を把握し、 <b>合理的配慮</b> や教育的ニーズに応じた適切な指導を実践している。	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。	<b>医療や福祉等の関係機関との連携・協働</b> を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。
		いじめ等への対応	<b>いじめ等問題行動の未然防止・早期発見</b> に努め、管理職や関係職員に報告・相談し、早期に対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向け、 <b>関係機関と連携しながら、組織的に対応</b> している。
	学校運営	連携・協働	自らの役割を理解し、同僚と協働しながら、その責任を果たしている。保護者等と望ましい信頼関係を構築し、課題に対応している。	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。	チームとしての学校という視点をもち、連携・協働による課題解決をリードするとともに、効果的なOJTを推進している。
		学校安全	学校運営における今日的課題を把握し、学校運営の重要性を理解している。	学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。	安全管理に精通し、学校安全計画や危機管理マニュアル等の改善が推進されるよう、指導的役割を果たしている。
		働き方改革・業務改善	校務に積極的に参加するとともに、 <b>勤務時間を意識した働き方</b> を行っている。	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。	<b>学校組織マネジメント</b> の視点から、組織全体を俯瞰し、業務の効率化の具体的な提案と推進を図っている。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<b>不登校や子供の貧困、ヤングケアラー、外国籍児童生徒等</b> 、児童生徒を取り巻く多様な背景があることを理解している。	児童生徒の個々の状況や背景を理解し、スクールカウンセラー等からの助言を受け、適切な支援をしている。	児童生徒の個々の状況や背景を分析し、 <b>スクールカウンセラー等と連携・協働</b> し、適切な支援をしている。	福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。	
ICTや情報・教育データの利活用	学校におけるICTの活用の意義や情報・教育データの重要性を理解している。	授業や校務等にICTを活用し、児童生徒の情報モラルを含めた <b>情報活用能力を育成</b> する実践を行っている。	ICTや情報・教育データを適切に利活用し、 <b>校務の効率化</b> 及び児童生徒の学習等の改善を図っている。	ICTや情報・教育データの利活用により、自校の課題を明確にし、改善に向けて指導的役割を果たしている。	
自ら学ぶ姿勢	<b>教員として学び続ける</b> 重要性を理解している。	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、 <b>広い視野を持って自己研鑽</b> を積んでいる。	ミドルリーダーとして、積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。	自校の教育課題に対応した研修を企画・立案し、チームとしての学校の組織力を高める取組を推進している。	
養護教諭として必要な専門性	保健管理	学校保健安全法等を理解し、保健管理に関する基礎を身に付けている。	児童生徒の健康状態を把握し、様々な課題に対して適切に対応している。	家庭や地域の医療機関等との連携体制づくりを推進し、様々な課題に対応している。	
	保健教育	学習指導要領の内容を把握し、専門性を生かした指導を理解している。	学級担任等と連携し、専門性を生かした保健教育を実践している。	児童生徒の健康課題解決を目指した指導計画立案に関わり、実践している。	
	健康相談・保健指導	健康相談及び、これを踏まえた保健指導の重要性を理解している。	心身の健康課題の解決を目指した健康相談・保健指導を実施している。	心身の健康課題の早期発見に努め、解決に向けた健康相談・保健指導の体制を整備している。	
	保健室経営	養護教諭の役割と職務内容を理解している。	学校教育目標の具現化を目指した保健室経営計画を作成し、目標達成に向けて実践している。	保健室経営計画を教職員に周知し、校内の組織運営に積極的に役割を果たそうとしている。	
	保健組織活動	保健組織活動の意義を理解している。	保健組織活動の意義を理解し、活動の企画運営に参画している。	校内の保健活動を主体的に進められるよう教職員の連携をコーディネートするとともに、学校医等との連携体制を整備している。	

※ 第1ステージは採用から5年目まで、第2ステージは6年目～20年目まで、第3ステージは21年目～退職までを目安としてイメージしている。

# 【改定】 やまなし栄養教諭育成指標

## 山梨県が求める教員像

ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

### 教員として必要な素養（全ステージ）

豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力 **ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力**

ステージ	採用時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ		
		実践力養成期	専門性充実期・協働力養成期	指導力・協働力完成期		
各ステージにおいて目指す姿		実践力を磨き、教員としての基礎を築くとともに、資質能力の向上を目指している	専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化させるとともに、資質能力の向上を図っている	豊富な経験と広い視野から指導力・協働力を発揮して学校運営を支えるとともに、後進を育成している		
教員として必要な専門性	生徒指導	児童生徒理解	日々の声かけや面談により、 <b>児童生徒の気持ちに寄り添い</b> 、信頼関係を構築している。	同僚と協働し、 <b>観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め</b> 、課題解決に向け取り組んでいる。	児童生徒の課題を多面的に把握し、課題解決に向けて組織的な取組を推進している。	
		道徳教育	児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導を行っている。	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	自校の教育活動全体を通じて、児童生徒の道徳性を高めるよう組織的な取組を推進している。	
		人権教育	各発達段階における心理的特性を把握し、生徒指導の重要性を理解している。	人権を尊重することの意義や必要性を認識し、児童生徒一人一人を尊重した指導を行っている。	<b>多様性を受容し</b> 、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。	人権が尊重された学校づくりをするために、家庭・地域と協働しながら組織的な取組を推進している。
		特別支援教育	児童生徒の実態を把握し、 <b>合理的配慮</b> や教育的ニーズに応じた適切な指導を実践している。	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。	<b>医療や福祉等の関係機関との連携・協働</b> を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。	
		いじめ等への対応	<b>いじめ等問題行動の未然防止・早期発見</b> に努め、管理職や関係職員に報告・相談し、早期に対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向け、 <b>関係機関と連携しながら、組織的に対応</b> している。	
	学校運営	連携・協働	自らの役割を理解し、同僚と協働しながら、その責任を果たしている。保護者等と望ましい信頼関係を構築し、課題に対応している。	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。	チームとしての学校という視点をもち、連携・協働による課題解決をリードするとともに、効果的なOJTを推進している。	
		学校安全	学校運営における今日的課題を把握し、学校運営の重要性を理解している。	学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。	安全管理に精通し、学校安全計画や危機管理マニュアル等の改善が推進されるよう、指導的役割を果たしている。	
		働き方改革・業務改善	校務に積極的に参加するとともに、 <b>勤務時間を意識した働き方</b> を行っている。	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。	<b>学校組織マネジメント</b> の視点から、組織全体を俯瞰し、業務の効率化の具体的提案と推進を図っている。	
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<b>不登校や子供の貧困、ヤングケアラー、外国籍児童生徒等</b> 、児童生徒を取り巻く多様な背景があることを理解している。	児童生徒の個々の状況や背景を理解し、スクールカウンセラー等からの助言を受け、適切な支援をしている。	児童生徒の個々の状況や背景を分析し、 <b>スクールカウンセラー等と連携・協働し</b> 、適切な支援をしている。	福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。	
	ICTや情報・教育データの利活用	学校におけるICTの活用の意義や情報・教育データの重要性を理解している。	授業や校務等にICTを活用し、児童生徒の情報モラルを含めた <b>情報活用能力を育成</b> する実践を行っている。	ICTや情報・教育データを適切に利活用し、 <b>校務の効率化</b> 及び児童生徒の学習等の改善を図っている。	ICTや情報・教育データの利活用により、自校の課題を明確にし、改善に向けて指導的役割を果たしている。	
自ら学ぶ姿勢	<b>教員として学び続ける</b> 重要性を理解している。	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、 <b>広い視野を持って自己研鑽</b> を積んでいる。	ミドルリーダーとして、積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。	自校の教育課題に対応した研修を企画・立案し、チームとしての学校の組織力を高める取組を推進している。		
栄養教諭として必要な専門性	食に関する指導	指導計画の立案と推進	食に関する指導計画の必要性を理解し、実施している。	指導計画の立案や全校的な食育の推進体制において、教職員の連携をコーディネートしている。	指導計画に基づいた食育を実施・評価し、改善の中心的な役割を果たしている。	
		学校給食の時間における指導	教育活動全体を通して食育を推進することの意義を理解している。	学校給食の献立や使用されている食品を活用し、効果的な指導を行っている。	給食時の指導計画を示し、学校給食の教材化を図っている。	学校給食の時間における食に関する指導について、教職員への指導的役割を果たしている。
		教科等における指導	教科等の内容やねらいを理解し、専門性を生かした食に関する指導を行っている。	教職員と連携して、教科等での食に関する指導の内容、評価の計画作成を行っている。	教職員と連携して、教科等での食に関する指導の内容、評価の計画作成を行っている。	教科等での食に関する指導の内容・評価について、的確な助言を行っている。
		個に応じた対応・指導	児童生徒の実態把握と個別的な相談・指導の重要性を理解している。	児童生徒の課題を把握し、教職員や保護者と連携して対応している。	児童生徒の健康状況に応じて、教職員や保護者と連携して対応・指導を行っている。	児童生徒の課題を総合的にとらえ、教職員や保護者と連携し、専門的見地から対応・指導している。
	学校給食の管理	栄養管理	学校給食実施基準等を理解し、栄養管理に関する基礎を身に付けている。	学校給食摂取基準を踏まえ、多様な食品を適切に組み合わせた献立を作成している。	児童生徒の実態や学校・地域の特色に応じた献立を作成し、施設に合わせた調理指導をしている。	地域において、献立作成や調理指導の方法に関する指導的役割を果たしている。
		衛生管理	学校給食衛生管理基準等を理解し、衛生管理に関する基礎を身に付けている。	学校給食衛生管理基準に基づき、指導・助言をしている。	給食施設や学校の課題を的確に捉え、調理から喫食までの衛生管理について指導・助言をしている。	地域において、調理場から学校での衛生管理に関する指導的役割を果たしている。

※ 第1ステージは採用から5年目まで、第2ステージは6年目～20年目まで、第3ステージは21年目～退職までを目安としてイメージしている。

## 【改定】やまなし校長指標

校長として目指す姿		リーダーシップやマネジメント力を発揮し、 信頼される学校経営を行う校長	
校長として必要な素養	マネジメント力	教育者としての資質や的確な判断力、決断力、交渉力、危機管理などの <b>マネジメント力の向上</b> に取り組んでいる。	
		学校の実態に関する様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について収集・整理・分析し共有する <b>アセスメント力の向上</b> に取り組んでいる。	
		学校内外の関係者の相互作用により、学校の教育力が最大化できる <b>ファシリテーション力の向上</b> に取り組んでいる。	
	使命感・責任感	確かな教育理念と高い見識を有し、教育に対する県民の期待に応え、信頼される学校づくりを行っている。	
	教育的愛情	ふるさと山梨の未来を担う人材を育成するために、児童生徒及び教職員一人一人を信頼・理解し、それぞれの成長を支援している。	
	リーダーシップ	時代の趨勢を見極め、明確なビジョンを示し、学校組織を統率するとともに、「チーム学校」の具現化に向けて取り組んでいる。	
自己啓発力	社会情勢や最新の教育課題に関心を持つとともに、豊かな教養を備えるなど、校長としての資質能力を向上させようと常に学び続けている。		
校長として必要なマネジメント	教育の管理	経営方針の構築	学校の現状と課題を把握するとともに、国や県等の教育施策等を踏まえ、学校教育目標を策定している。
		教育課程の編成	学校教育目標の達成に向け、「社会に開かれた教育課程」を編成・実施している。
		学校評価・改善	学校評価等を適切に活用し、自校の教育活動を改善している。
	教職員の管理	人材育成	教職員一人一人の資質能力とキャリアステージについて指導・助言し、自律的な成長を支援している。
		研修	教職員が主体的に学び続けることができる体制を構築し、校内研修や校内研究を活性化させるとともに、研修履歴を活用して教職員の資質能力の向上について指導・助言している。
		管理・監督	働き方改革を積極的に推進するとともに、教職員の勤務状況と心身の健康状態等を的確に把握し、職務及び身分の適切な管理・監督をしている。
		人事評価	公正公平な人事評価を行い、教職員の資質能力の向上及び組織の活性化を図っている。
	施設・事務の管理	施設・設備の管理及び、会計処理や事務手続きなど学校事務に関する管理を適切に行っている。	
	危機管理・学校安全	組織的な危機管理体制を構築するとともに、危機発生の前防止から発生時、事後までを見据えたリスクマネジメントの徹底を図っている。	
	連携・協働	学校運営協議会や学校評議員会等を活用し、保護者や地域、関係機関と連携した協働体制を構築している。	

令和5年度

研修計画・研修一覧

(教員・養護・栄養・校長)

山梨県総合教育センター



# やまなし教員育成指標に基づく研修計画(第1ステージ)

**山梨県が求める教員像** ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

**教員として必要な素養** 豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力  
ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

**実践力養成期** 実践力を磨き、教員としての基礎を築くとともに、資質能力の向上を目指している

		教員育成指標	研修内容	研修例
学習指導	授業計画	児童生徒の実態を理解し、学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を立てている。	児童生徒の実態と学習指導要領の意義や役割を理解し、基礎的な授業計画について学ぶ。	・初任研(教科指導法123・学習指導要領) ・教科研修
	授業実践	学習者中心の授業を実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組んでいる。(例:よのなか科など)	実際の授業が「主体的・対話的で深い学び」となっていることを点検し、指導方法の改善について学ぶ。	・初任研(総合的な学習/探究の時間・プログラミング教育・自然観察) ・教科研修 ・経験3年目教員理科指導力アップ研修会
	学習評価・授業改善	指導と評価の一体化に取り組むとともに、児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究や授業改善を行っている。	指導と評価の一体化について理解し、授業改善や効果的な学習評価について学ぶ。	・初任研(教科指導法123・学習指導要領) ・教科研修
	学級経営	児童生徒一人一人の特性を理解し、よりよい人間関係を築く土台となる集団づくりを行っている。	学級経営の役割と意義を把握し、学級目標の設定、好ましい人間関係や集団づくりについて学ぶ。	・初任研(学級経営基礎・実践、特別活動) ・子供の対人関係を育む研修会 ・個と集団の力を育む研修会・学級・集団づくり研修会 ・学級・授業づくり研修会・若手教員グローアップ事業 ・ストレスマネジメント教育研修会
	児童生徒理解	日々の声かけや面談により、児童生徒の気持ちに寄り添い、信頼関係を構築している。	児童生徒に対する共感的理解の重要性を把握し、児童生徒理解に関する基礎的な知識について学ぶ。	・初任研(生徒指導、教育相談、校外学習引率の心構え) ・コミュニケーション基礎研修会・命の教育研修会 ・不登校対応研修会・不登校予防研修会 ・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
	道徳教育	児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導を行っている。	学校教育全体と道徳教育の関連を把握し、道徳教育の授業づくりや評価について学ぶ。	・初任研(道徳教育) ・「特別の教科 道徳」研修会
	人権教育	人権を尊重することの意義や必要性を認識し、児童生徒一人一人を尊重した指導を行っている。	人権を取り巻く様々な課題についての知識や人権教育の在り方、学級づくり、人間関係づくりについて学ぶ。	・初任研(人権教育) ・人権教育研修
	特別支援教育	児童生徒の実態を把握し、合理的配慮や教育的ニーズに応じた適切な指導を実践している。	特別支援教育の現状と課題を把握し、個別の指導や支援、インクルーシブ教育システム、合理的配慮に関する基礎的事項について学ぶ。	・初任研(特別支援教育基礎・理解)(自立活動) ・特支・指導力向上研修会 ・特支・基礎研修会 ・特支・専門研修会
	いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止・早期発見に努め、管理職や関係職員に報告・相談し、早期に対応している。	いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針を理解し、予防的な支援や対応等について学ぶ。	・初任研(生徒指導、教育相談、人権教育) ・いじめに関する研修会
生徒指導	キャリア教育	キャリア・パスポートを活用し、将来の在り方や生き方を考えさせる指導を行っている。	キャリア教育の現状と課題を把握し、キャリア教育に求められている役割と意義、指導方法について学ぶ。	・初任研(キャリア教育)
	教育課程	自校の教育目標と教育課程を理解し、効果的な指導の実現を図っている。	学習指導要領の意義や役割を理解し、教育目標と教育活動の関連や指導と評価の一体化等について学ぶ。	・初任研(学習指導要領)
	連携・協働	自らの役割を理解し、同僚と協働しながら、その責任を果たしている。保護者等と望ましい信頼関係を構築し、課題に対応している。	校内における協働体制の意義や家庭や地域社会との連携について学ぶ。	・初任研(部活動の在り方) ・初任研(博学連携)
	学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。	学校の危機管理の必要性を理解し、学校事故防止、安全対策等のマニュアルに基づいた非常時の組織的行動や役割について学ぶ。	・初任研(危機管理(情報)) ・初任研(健康教育(学校安全・保健・食育)) ・初任研(防災教育) ・防災教室講習会
学校運営	働き方改革・業務改善	校務に積極的に参加するとともに、勤務時間を意識した働き方を行っている。	国や県の施策について理解を深め、働き方改革に関する意識を高め、具体的な取組について学ぶ。	・初任研(教育公務員の服務) ・初任研(ICTの活用)
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の個々の状況や背景を理解し、スクールカウンセラー等からの助言を受け、適切な支援をしている。	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を把握し、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に関する基礎的事項について学ぶ。	・初任研(人権教育、教育相談) ・初任研(特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応)
	ICTや情報・教育データの利活用	授業や校務等にICTを活用し、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成する実践を行っている。	ICTを活用した授業や校務等への有効性や、情報管理の重要性を理解し、情報活用能力を育成する指導方法を学ぶ。	・初任研(危機管理(情報))(プログラミング教育) ・初任研(授業でのICTの活用・実践報告) ・ICT活用指導力推進研修会 ・情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会 ・学校における教育活動と著作権研修会
	自ら学ぶ姿勢	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、広い視野をもって自己研鑽を積んでいる。	学校の特色と自らのキャリアステージを考え、教員としての資質や指導力向上について学ぶ。	・初任研(学び続ける教員について)

# やまなし教員育成指標に基づく研修計画(第2ステージ)

**山梨県が求める教員像** ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

**教員として必要な素養** 豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力  
ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

**専門性充実期・協働力養成期** 専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化させるとともに、資質能力の向上を図っている

教員育成指標		研修内容	研修例
学習指導	授業計画	児童生徒の実態に応じて、各教科等の専門的知識を生かし、指導計画を立てている。	児童生徒の実態を理解し、各教科の専門的知識を踏まえた授業計画について学ぶ。 ・中堅研(教科指導等に関わる研修、地域の教育事情<義務>、異校種授業参観<県立>) ・五年研(学習指導研修会) ・教科等研修 ・学力調査を踏まえた授業改善のための説明会
	授業実践	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業を実践している。	実際の授業が「個別最適な学び」と「協働的な学び」となっていることを点検し、指導方法の改善について学ぶ。 ・中堅研(教科指導等に関わる研修、地域の教育事情<義務>、異校種授業参観<県立>) ・五年研(学習指導研修会) ・教科等研修 ・学力調査を踏まえた授業改善のための説明会
	学習評価・授業改善	適切な評価を行うとともに、 <b>学習者中心の授業</b> に向けた改善に取り組んでいる。	学習評価の役割と意義を理解し、指導方法の改善と指導と評価の一体化について学ぶ。 ・中堅研(教科指導等に関わる研修、地域の教育事情<義務>、異校種授業参観<県立>) ・五年研(学習指導研修会) ・教科等研修 ・学力調査を踏まえた授業改善のための説明会
生徒指導	学級経営	集団の課題に対し、同僚と協働し解決を図り、 <b>児童生徒の可能性を引き出す集団づくり</b> を行っている。	学級経営の役割と意義を理解し、個の集まりとして学級を指導し、協働するためのコミュニケーション技術を学ぶ。 ・中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術) ・五年研(教育課題研修会) ・子供の対人関係を育む研修会 ・個と集団の力を育む研修会・学級・集団づくり研修会 ・学級・授業づくり研修会・ストレスマネジメント研修会
	児童生徒理解	同僚と協働し、 <b>観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め</b> 、課題解決に向け取り組んでいる。	児童生徒に関する今日的課題を理解し、意欲や自己肯定感を高めるためのカウンセリング技法等について学ぶ。 ・中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術) ・五年研(教育課題研修会)・命の教育研修会 ・コミュニケーション基礎研修会・不登校対応研修会 ・不登校予防研修会・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
	道徳教育	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	学校教育全体と道徳教育の関連を理解し、道徳性とその涵養のための実践的な指導方法について学ぶ。 ・中堅研(道徳性とその涵養方法) ・五年研(教育課題研修会) ・道徳教育推進教師研修会 ・道徳教育スキルアップ研修会
	人権教育	<b>多様性を受容</b> し、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。	人権を取り巻く様々な課題についての知識や配慮が必要な児童生徒への組織的な支援の在り方について学ぶ。 ・中堅研(現代の教育課題) ・五年研(教育課題研修会) ・人権教育研修
	特別支援教育	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。	特別支援教育の現状と課題を理解し、児童生徒の実態のとらえ方や障害特性に応じた適切な指導法、関係諸機関との連携・協働について学ぶ。 ・中堅研(教育現場におけるユニバーサルデザインの利用) ・五年研(教育課題研修会) ・特支・指導力向上研修会 ・特支・基礎研修会 ・特支・専門研修会
	いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。	いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針を理解し、いじめ問題への組織的な対応方法について学ぶ。 ・中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術) ・五年研(教育課題研修会) ・いじめに関する研修会
	キャリア教育	<b>児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力</b> を、同僚と協働し育成している。	キャリア教育の果たす意義について理解し、よりよいキャリア教育の企画・指導方法について学ぶ。 ・中堅研(現代の教育課題) ・五年研(教育課題研修会) ・キャリア教育研修会
	教育課程	自校の教育目標達成に向け、 <b>カリキュラム・マネジメント</b> に基づいた教育課程の編成・実施に参画している。	自校の教育目標を達成するために、カリキュラム・マネジメントの意義と活用方法について学ぶ。 ・中堅研(カリキュラム・マネジメント) ・カリキュラム・マネジメント研修会
	連携・協働	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。	学級や学校の抱える課題解決のために、地域や関係諸機関との連携・協働の在り方について学ぶ。 ・中堅研(中堅教諭としての連携・協働) ・チーム学校 持続可能な支援を考える研修会(危機対応の具体例と他機関連携) ・しなやかな心の育成シンポジウム ・給食主任研修
学校運営	学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。	学校の危機管理に関する事項や危機管理体制を理解し、具体的な改善への取組について学ぶ。 ・中堅研(危機管理) ・五年研(教育課題研修会) ・学校安全・危機管理研修会 ・防災教室講習会
	働き方改革・業務改善	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。	国や県の施策について理解し、学校の中核として働き方改革を推進するための取組について学ぶ。 ・中堅研(中堅教諭としての連携・協働)
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の個々の状況や背景を分析し、 <b>スクールカウンセラー等と連携・協働</b> し、適切な支援をしている。	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を把握し、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に関する指導法、関係諸機関との連携・協働のあり方について学ぶ。 ・中堅研(多様な教育ニーズへの対応) ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を考える研修会
	ICTや情報・教育データの活用	ICTや情報・教育データを適切に利活用し、 <b>校務の効率化</b> 及び児童生徒の学習等の改善を図っている。	ICTや情報・教育データの利活用について理解し、校務の効率化及び児童生徒の学習等を改善する方法について学ぶ。 ・中堅研(現代の教育課題) ・五年研(教育課題研修会) ・ICT活用指導力推進研修会 ・情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会 ・学校における教育活動と著作権研修会
自ら学ぶ姿勢	ミドルリーダーとして、積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。	校内や校外の研究の成果を同僚と共有し、日々の指導に生かす方法について学ぶ。 ・中堅研(学び続けることの意義) ・五年研(資質向上研修会) ・新研究主任研修会	

# やまなし教員育成指標に基づく研修計画(第3ステージ)

山梨県が求める 教員像	ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員
教員として 必要な素養	豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感 法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力 ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力
指導力・協働力 完成期	豊富な経験と広い視野から指導力・協働力を発揮して学校運営を支えるとともに、後進を育成している

教員育成指標		研修内容	研修例
学習指導	授業計画	年間指導計画の立案や単元設計を通して、校内研究の推進と充実について学ぶ。	・教科研修 ・学力調査を踏まえた授業改善のための説明会
	授業実践	学習指導要領の着実な実施について考え、授業実践の充実について様々な事例を学ぶ。	・教科研修 ・学力調査を踏まえた授業改善のための説明会
	学習評価・授業改善	学習評価と授業改善の関連を理解し、学校の学習評価全体計画の改善と充実について学ぶ。	・教科研修 ・学力調査を踏まえた授業改善のための説明会
生徒指導	学級経営	学級経営の役割と意義を理解し、学校力向上に向けた学級づくりと担任集団内でのリーダーシップについて学ぶ。	・子供の対人関係力を育む研修会 ・個と集団の力を育む研修会 ・学級・集団づくり研修会 ・学級・授業づくり研修会 ・ストレスマネジメント教育研修会
	児童生徒理解	児童生徒の課題を多面的に把握し、課題解決に向けて組織的な取組を推進している。	・ネットトラブル対応について学ぶ研修会 ・コミュニケーション基礎研修会 ・命の教育研修会・不登校対応研修会 ・不登校予防研修会・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
	道徳教育	学校教育全体と道徳教育の関連を理解し、道徳性涵養のための校内体制構築について学ぶ。	
	人権教育	人権を取り巻く様々な課題についての知識や学校全体の人権教育の在り方について学ぶ。	・人権教育研修
	特別支援教育	特別支援教育の現状と課題を理解し、チーム学校の視点から校内支援体制の充実について学ぶ。	・特支・指導力向上研修会 ・特支・基礎研修会 ・特支・専門研修会
	いじめ等への対応	いじめ・不登校問題や困難を抱える児童生徒等に対する校内体制のあり方について学ぶ。	・いじめに関する研修会
	キャリア教育	キャリア教育の果たす意義を理解し、学校のキャリア教育全体計画の立案、評価と改善の方法について学ぶ。	・キャリア教育研修会
	教育課程	「開かれた教育課程」の意義や役割を理解し、カリキュラム・マネジメントを活用しての学校運営の改善方法について学ぶ。	・リーダー研修(教務の仕事について学ぶ研修会) ・リーダー研修(新教務主任研修) ・カリキュラム・マネジメント研修会 ・学校運営・教育課程を学ぶ研修会
	連携・協働	地域連携の改革の流れを理解し、「チームとしての学校」「地域とともにある学校」について学ぶ。	・チーム学校 持続可能な支援を考える研修会 ・新主幹教諭研修(学校運営への参画) ・学校運営・連携・協働を学ぶ研修会
学校運営	学校安全	実践的な学校安全の在り方の理解を深め、組織的な危機管理体制について学ぶ。	・新教頭研修(学校の危機管理) ・学校安全・危機管理研修会
	働き方改革・業務改善	国や県の施策について理解し、学校全体の業務の効率化を組織的に推進するための取組について学ぶ。	・教職員の働き方を考える研修会
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を理解し、校内支援体制の充実について学ぶ。	・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を考える研修会 ・多様な教育ニーズへの対応を学ぶ研修会
	ICTや情報・教育データの活用	ICTや情報・教育データの活用の意義や役割を理解し、校内研究の推進について学ぶ。	・iPadを使ったICT活用指導力向上研修会 ・Teamsを使ったICT活用指導力向上研修会 ・ICT活用指導力推進研修会 ・情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会 ・学校における教育活動と著作権研修会
自ら学ぶ姿勢	これからの教職員に求められる資質・能力を理解し、校内研究の推進について学ぶ。	・新研究主任研修会	

# やまなし養護教諭育成指標に基づく研修計画(第1ステージ)

**山梨県が求める教員像** ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

**教員として必要な素養** 豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力  
ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

**実践力養成期** 実践力を磨き、教員としての基礎を築くとともに、資質能力の向上を目指している

養護教諭育成指標		研修内容	研修例
生徒指導	児童生徒理解	日々の声かけや面談により、 <b>児童生徒の気持ちに寄り添い</b> 、信頼関係を構築している。	児童生徒に対する共感的理解の重要性を把握し、児童生徒理解に関する基礎的な知識について学ぶ。 ・初任研(生徒指導、教育相談、校外学習引率の心構え) ・コミュニケーション基礎研修会・命の教育研修会 ・不登校対応研修会・不登校予防研修会 ・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
	道徳教育	児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導を行っている。	学校教育全体と道徳教育の関連を把握し、道徳教育の授業づくりや評価について学ぶ。 ・初任研(道徳教育) ・「特別の教科 道徳」研修会
	人権教育	人権を尊重することの意義や必要性を認識し、児童生徒一人一人を尊重した指導を行っている。	人権を取り巻く様々な課題についての知識や人権教育の在り方、学級づくり、人間関係づくりについて学ぶ。 ・初任研(人権教育) ・人権教育研修
	特別支援教育	児童生徒の実態を把握し、 <b>合理的配慮</b> や教育的ニーズに応じた適切な指導を実践している。	特別支援教育の現状と課題を把握し、個別の指導や支援、インクルーシブ教育システム、合理的配慮に関する基礎的事項について学ぶ。 ・初任研(特別支援教育基礎・理解) ・特支・指導力向上研修会 ・特支・基礎研修会 ・特支・専門研修会
	いじめ等への対応	<b>いじめ等問題行動の未然防止・早期発見</b> に努め、管理職や関係職員に報告・相談し、早期に対応している。	いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針を理解し、予防的な支援や対応等について学ぶ。 ・初任研(教育相談、人権教育) ・いじめに関する研修会
学校運営	連携・協働	自らの役割を理解し、同僚と協働しながら、その責任を果たしている。保護者等と望ましい信頼関係を構築し、課題に対応している。	校内における協働体制の意義や家庭や地域社会との連携について学ぶ。 ・初任研(博学連携)
	学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。	学校の危機管理の必要性を理解し、学校事故防止、安全対策等のマニュアルに基づいた非常時の組織的行動や役割について学ぶ。 ・初任研(危機管理(情報)) ・初任研(健康教育(学校安全・保健・食育)) ・初任研(防災教育) ・防災教室講習会
	働き方改革・業務改善	校務に積極的に参加するとともに、 <b>勤務時間を意識した働き方</b> を行っている。	国や県の施策について理解を深め、働き方改革に関する意識を高め、具体的な取組について学ぶ。 ・初任研(教育公務員の服務) ・初任研(ICTの活用)
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の個々の状況や背景を理解し、スクールカウンセラー等からの助言を受け、適切な支援をしている。	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を把握し、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に関する基礎的事項について学ぶ。 ・初任研(人権教育、教育相談) ・初任研(特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応)	
ICTや情報・教育データの利活用	授業や校務等にICTを活用し、児童生徒の情報モラルを含めた <b>情報活用能力を育成</b> する実践を行っている。	ICTを活用した授業や校務等への有効性や、情報管理の重要性を理解し、情報活用能力を育成する指導方法を学ぶ。 ・初任研(危機管理(情報))(プログラミング教育) ・初任研(授業でのICTの活用・実践報告) ・ICT活用指導力推進研修会 ・情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会 ・学校における教育活動と著作権研修会	
自ら学ぶ姿勢	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、 <b>広い視野を持って自己研鑽</b> を積んでいる。	学校の特色と自らのキャリアステージを考え、教員としての資質や指導力向上について学ぶ。 ・初任研(学び続ける教員について)	

養護教諭として必要な専門性	保健管理	児童生徒の健康状態を把握し、様々な課題に対して適切に対応している。	課題への適切な対応の仕方について学ぶ。 ・初任研(学校保健活動の推進と養護教諭の役割) ・初任研(アレルギー対応、学校における感染症対策) ・初任研(救急処置) ・養護教諭研修・救急処置研修会 ・医療ケア専門研修
	保健教育	学級担任等と連携し、専門性を生かした保健教育を実践している。	保健教育の指導方法について学ぶ。 ・初任研(保健教育の意義と進め方) ・初任研(保健教育実践報告) ・養護教諭研修
	健康相談・保健指導	心身の健康課題の解決を目指した健康相談・保健指導を実施している。	心身の健康課題についての気づきや見立てについて学ぶ。 ・初任研(健康相談実践基礎・学校保健の課題とその対応) ・養護教諭研修・事例検討研修会 ・健康相談実践基礎研修会 ・学校保健ステップアップ支援事業地域事例検討研修会
	保健室経営	学校教育目標の具現化を目指した保健室経営計画を作成し、目標達成に向けて実践している。	保健室経営計画の作成の仕方について学ぶ。 ・初任研(保健室経営12) ・養護教諭研修
	保健組織活動	保健組織活動の意義を理解し、活動の企画運営に参画している。	学校保健委員会設置の目的について学ぶ。 ・初任研(学校保健活動の評価) ・養護教諭研修

# やまなし養護教諭育成指標に基づく研修計画(第2ステージ)

山梨県が求める 教員像	ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員
教員として 必要な素養	豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感 法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力 ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力
専門性充実期・ 協働性養成期	専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化させるとともに、資質能力の向上を図っている

養護教諭育成指標		研修内容	研修例
教職としての専門性	児童生徒理解	同僚と協働し、 <b>観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め</b> 、課題解決に向け取り組んでいる。	・中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術) ・五年研(教育課題研修会)・命の教育研修会 ・コミュニケーション基礎研修会・不登校対応研修会 ・不登校予防研修会・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
	道徳教育	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	・中堅研(道徳性の涵養) ・五年研(教育課題研修会) ・道徳教育推進教師研修会 ・「特別の教科 道徳」研修会
	人権教育	<b>多様性を受容し</b> 、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。	・中堅研(現代の教育課題) ・五年研(教育課題研修会) ・人権教育研修
	特別支援教育	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。	・中堅研(教育現場におけるユニバーサルデザインの利用) ・五年研(教育課題研修会) ・特支・指導力向上研修会 ・特支・基礎研修会 ・特支・専門研修会
	いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。	・中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術) ・五年研(教育課題研修会) ・いじめに関する研修会
	連携・協働	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。	・中堅研(中堅教諭としての連携・協働) ・チーム学校 持続可能な支援を考える研修会(危機対応の具体例と他機関連携) ・しなやかな心の育成シンポジウム ・給食主任研修
	学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。	・中堅研(危機管理) ・五年研(教育課題研修会) ・学校安全・危機管理研修会 ・防災教室講習会
	働き方改革・業務改善	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。	・中堅研(中堅教諭としての連携・協働)
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の個々の状況や背景を分析し、 <b>スクールカウンセラー等と連携・協働</b> し、適切な支援をしている。	・中堅研(多様な教育ニーズへの対応) ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を考える研修会
	ICTや情報・教育データの活用	ICTや情報・教育データを適切に利活用し、 <b>校務の効率化</b> 及び児童生徒の学習等の改善を図っている。	・中堅研(現代の教育課題) ・WordPressを使ったHP作成研修会 ・情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会 ・学校における教育活動と著作権研修会
自ら学ぶ姿勢	ミドルリーダーとして、積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。	・中堅研(学び続けることの意義) ・五年研(資質向上研修会) ・新研究主任研修会	

養護教諭として必要な専門性	保健管理	家庭や地域の医療機関等との連携体制づくりを推進し、様々な課題に対応している。	家庭や外部機関との連携・協働や、様々な課題への対応について学ぶ。	・中堅研(保健管理について) ・五年研(学習指導研修会) ・養護教諭研修 ・救急処置研修会・緊急時対応研修会 ・医療ケア専門研修
	保健教育	児童生徒の健康課題解決を目指した指導計画立案に関わり、実践している。	保健教育の効果的な計画立案について学ぶ。	・中堅研(保健教育について、保険学習授業改善) ・五年研(学習指導研修会) ・養護教諭研修
	健康相談・保健指導	心身の健康課題の早期発見に努め、解決に向けた健康相談・保健指導の体制を整備している。	心身の健康課題についての見立てや、その解決に向けての支援体制について学ぶ。	・中堅研(保健室経営について) ・五年研(学習指導研修会) ・養護教諭研修・事例検討研修会 ・健康相談実践基礎研修会 ・学校保健ステップアップ支援事業地域事例検討研修会
	保健室経営	保健室経営計画を教職員に周知し、校内の組織運営に積極的に役割を果たそうとしている。	校内での保健室の役割について学ぶ。	・中堅研(保健室経営について) ・五年研(学習指導研修会) ・養護教諭研修
	保健組織活動	校内の保健活動を主体的に進められるよう教職員の連携をコーディネートするとともに、学校医等との連携体制を整備している。	学校保健委員会の運営について学ぶ。	・中堅研(保健組織活動について) ・五年研(学習指導研修会) ・養護教諭研修 ・緊急時対応研修会 ・健康相談実践スキルアップ研修会

# やまなし養護教諭育成指標に基づく研修計画(第3ステージ)

**山梨県が求める 教員像** ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

**教員として必要な素養** 豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力  
ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

**指導力・協働力 完成期** 豊富な経験と広い視野から指導力・協働力を発揮して学校運営を支えるとともに、後進を育成している

養護教諭育成指標		研修内容	研修例
教職としての専門性	児童生徒理解	児童生徒の課題を多面的に把握し、課題解決に向けて組織的な取組を推進している。	児童生徒の今日的課題を理解し、チーム学校の生徒指導体制の在り方について学ぶ。 ・ネットトラブル対応について学ぶ研修会 ・コミュニケーション基礎研修会 ・命の教育研修会・不登校対応研修会 ・不登校予防研修会・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
	道徳教育	自校の教育活動全体を通じて、児童生徒の道徳性を高めるよう組織的な取組を推進している。	学校教育全体と道徳教育の関連を理解し、道徳性涵養のための校内体制構築について学ぶ。
	人権教育	人権が尊重された学校づくりをするために、家庭・地域と協働しながら組織的な取組を推進している。	人権を取り巻く様々な課題についての知識や学校全体の人権教育の在り方について学ぶ。
	特別支援教育	医療や福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。	特別支援教育の現状と課題を理解し、チーム学校の視点から校内支援体制の充実について学ぶ。
	いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向け、関係機関と連携しながら、組織的に対応している。	いじめ・不登校問題や困難を抱える児童生徒等に対する校内体制のあり方について学ぶ。
	連携・協働	チームとしての学校という視点を持ち、連携・協働による課題解決をリードするとともに、効果的なOJTを推進している。	地域連携の改革の流れを理解し、「チームとしての学校」「地域とともにある学校」について学ぶ。
	学校安全	安全管理に精通し、学校安全計画や危機管理マニュアル等の改善が推進されるよう、指導的役割を果たしている。	実践的な学校安全の在り方の理解を深め、組織的な危機管理体制について学ぶ。
	働き方改革・業務改善	学校組織マネジメントの視点から、組織全体を俯瞰し、業務の効率化の具体的提案と推進を図っている。	国や県の施策について理解し、学校全体の業務の効率化を組織的に推進するための取組について学ぶ。
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を理解し、校内支援体制の充実について学ぶ。
	ICTや情報・教育データの活用	ICTや情報・教育データの利活用により、自校の課題を明確にし、改善に向けて指導的役割を果たしている。	ICTや情報・教育データの利活用の意義や役割を理解し、校内研究の推進について学ぶ。
自ら学ぶ姿勢	自校の教育課題に対応した研修を企画・立案し、チームとしての学校の組織力を高める取組を推進している。	これからの教職員に求められる資質・能力を理解し、校内研究の推進について学ぶ。	

養護教諭として必要な専門性	保健管理	様々な課題解決に向けての対応が組織的に見えるよう指導的役割を果たしている。	関係機関を交えた組織体制づくりについて学ぶ。 ・養護教諭研修 ・緊急時対応研修会 ・医療ケア専門研修
	保健教育	他教科との関連した保健教育の指導計画を立案し、組織的な実践と評価を進めている。	保健教育の組織的な実践と評価について学ぶ。 ・養護教諭研修
	健康相談・保健指導	健康相談を専門家を交えて組織的に見えるよう、コーディネーターとしての役割を果たしている。	専門家を交えた組織的な支援体制について学ぶ。 ・養護教諭研修 ・事例検討研修会 ・学校保健ステップアップ支援事業地域事例検討研修会
	保健室経営	校内のみならず保護者や地域の関係機関と連携して、保健室経営を組織的に推進している。	関係機関との効果的な連携について学ぶ。 ・養護教諭研修
	保健組織活動	地域における健康課題の解決に向けた連携体制づくりを推進している。	地域との連携・協働について学ぶ。 ・養護教諭研修 ・緊急時対応研修会 ・健康相談実践スキルアップ研修会

# やまなし栄養教諭育成指標に基づく研修計画(第1ステージ)

山梨県が求める  
教員像

ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

教員として  
必要な素養

豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力  
ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

実践力養成期

実践力を磨き、教員としての基礎を築くとともに、資質能力の向上を目指している

栄養教諭育成指標		研修内容	研修例
教員として必要な専門性	生徒指導	児童生徒理解	日々の声かけや面談により、 <b>児童生徒の気持ちに寄り添い</b> 、信頼関係を構築している。 児童生徒に対する共感的理解の重要性を把握し、児童生徒理解に関する基礎的な知識について学ぶ。 ・初任研(生徒指導、教育相談、校外学習引率の心構え) ・コミュニケーション基礎研修会・命の教育研修会 ・不登校対応研修会・不登校予防研修会 ・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
		道徳教育	児童生徒の発達段階に応じて、道徳性を高める指導を行っている。 学校教育全体と道徳教育の関連を把握し、道徳教育の授業づくりや評価について学ぶ。 ・初任研(道徳教育) ・「特別の教科 道徳」研修会
		人権教育	人権を尊重することの意義や必要性を認識し、児童生徒一人一人を尊重した指導を行っている。 人権を取り巻く様々な課題についての知識や人権教育の在り方、学級づくり、人間関係づくりについて学ぶ。 ・初任研(人権教育) ・人権教育研修
		特別支援教育	児童生徒の実態を把握し、 <b>合理的配慮</b> や教育的ニーズに応じた適切な指導を実践している。 特別支援教育の現状と課題を把握し、個別の指導や支援、インクルーシブ教育システム、合理的配慮に関する基礎的事項について学ぶ。 ・初任研(特別支援教育基礎・理解) ・特支・指導力向上研修会 ・特支・基礎研修会 ・特支・専門研修会
		いじめ等への対応	<b>いじめ等問題行動の未然防止・早期発見</b> に努め、管理職や関係職員に報告・相談し、早期に対応している。 いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針を理解し、予防的な支援や対応等について学ぶ。 ・初任研(教育相談、人権教育) ・いじめに関する研修会
	学校運営	連携・協働	自らの役割を理解し、同僚と協働しながら、その責任を果たしている。 保護者等と望ましい信頼関係を構築し、課題に対応している。 校内における協働体制の意義や家庭や地域社会との連携について学ぶ。 ・初任研(博学連携)
		学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等を理解し、安全管理に取り組んでいる。 学校の危機管理の必要性を理解し、学校事故防止、安全対策等のマニュアルに基づいた非常時の組織的行動や役割について学ぶ。 ・初任研(危機管理(情報)) ・初任研(健康教育(学校安全・保健・食育)) ・初任研(防災教育) ・防災教室講習会
		働き方改革・業務改善	校務に積極的に参加するとともに、 <b>勤務時間を意識した働き方</b> を行っている。 国や県の施策について理解を深め、働き方改革に関する意識を高め、具体的な取組について学ぶ。 ・初任研(教育公務員の服務) ・初任研(ICTの活用)
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の個々の状況や背景を理解し、スクールカウンセラー等からの助言を受け、適切な支援をしている。 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を把握し、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に関する基礎的事項について学ぶ。 ・初任研(人権教育、教育相談) ・初任研(特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応)	
	ICTや情報・教育データの利活用	授業や校務等にICTを活用し、児童生徒の情報モラルを含めた <b>情報活用能力を育成</b> する実践を行っている。 ICTを活用した授業や校務等への有効性や、情報管理の重要性を理解し、情報活用能力を育成する指導方法を学ぶ。 ・初任研(危機管理(情報))(プログラミング教育) ・初任研(授業でのICTの活用・実践報告) ・ICT活用指導力推進研修会 ・情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会 ・学校における教育活動と著作権研修会	
自ら学ぶ姿勢	自己の課題を認識し、必要な研修に主体的に取り組むとともに、 <b>広い視野を持って自己研鑽</b> を積んでいる。 学校の特色と自らのキャリアステージを考え、教員としての資質や指導力向上について学ぶ。 ・初任研(学び続ける教員について)		

栄養教諭として必要な専門性	食に関する指導	指導計画の立案と推進	食に関する指導計画の必要性を理解し、実施している。 学校における食育の推進方法を学ぶ。 ・初任研(栄養教諭の役割、食に関する指導の在り方) ・初任研(食に関する指導研修)
		学校給食の時間における指導	学校給食の献立や使用されている食品を活用し、効果的な指導を行っている。 学校給食を活用した具体的な指導方法を学ぶ。 ・初任研(学校給食の活用)
		教科等における指導	教科等の内容やねらいを理解し、専門性を生かした食に関する指導を行っている。 各教科等の食に関する指導内容とその方法について学ぶ。 ・初任研(学級活動における食に関する指導、食育) ・初任研(食に関する指導の実践報告、食に関する指導の実際) ・初任研(総合的な学習/探究の時間)
		個に応じた対応・指導	児童生徒の課題を把握し、教職員や保護者と連携して対応している。 食物アレルギーについて学ぶ。 学校給食での対応方法を学ぶ。 ・初任研(食物アレルギー対応)
	学校給食の管理	栄養管理	学校給食摂取基準を踏まえ、多様な食品を適切に組み合わせた献立を作成している。 学校給食実施基準について学ぶ。 学校給食の献立内容の工夫について学ぶ。 ・初任研(栄養管理) ・学校給食の管理基礎・応用研修会 ・学校給食栄養・衛生管理研修会
		衛生管理	学校給食衛生管理基準に基づき、指導・助言をしている。 学校給食衛生管理基準について学ぶ。 調理従事者への指導・助言の方法について学ぶ。 ・初任研(衛生管理) ・学校給食の管理基礎・応用研修会 ・学校給食栄養・衛生管理研修会

# やまなし栄養教諭育成指標に基づく研修計画(第2ステージ)

**山梨県が求める 教員像** ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

**教員として必要な素養** 豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力  
ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

**専門性充実期・協働力養成期** 専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化させるとともに、資質能力の向上を図っている

栄養教諭育成指標		研修内容	研修例		
教員として必要な専門性	生徒指導	児童生徒理解	同僚と協働し、 <b>観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め</b> 、課題解決に向け取り組んでいる。	児童生徒に関する今日の課題を理解し、意欲や自己肯定感を高めるためのカウンセリング技法等について学ぶ。	・中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術) ・五年研(教育課題研修会)・命の教育研修会 ・コミュニケーション基礎研修会・不登校対応研修会 ・不登校予防研修会・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
		道徳教育	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。	学校教育全体と道徳教育の関連を理解し、道徳性とその涵養のための実践的な指導方法について学ぶ。	・中堅研(道徳性の涵養) ・五年研(教育課題研修会) ・道徳教育推進教師研修会 ・「特別の教科 道徳」研修会
		人権教育	<b>多様性を受容し</b> 、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。	人権を取り巻く様々な課題についての知識や配慮が必要な児童生徒への組織的な支援の在り方について学ぶ。	・中堅研(現代の教育課題) ・五年研(教育課題研修会) ・人権教育研修
		特別支援教育	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。	特別支援教育の現状と課題を理解し、児童生徒の実態のとらえ方や障害特性に応じた適切な指導法、関係諸機関との連携・協働について学ぶ。	・中堅研(教育現場における「EPA」の活用) ・五年研(教育課題研修会) ・特支・指導力向上研修会 ・特支・基礎研修会 ・特支・専門研修会
		いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。	いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針を理解し、いじめ問題への組織的な対応方法について学ぶ。	・中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術) ・五年研(教育課題研修会) ・いじめに関する研修会
	学校運営	連携・協働	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。	学級や学校の抱える課題解決のために、地域や関係諸機関との連携・協働の在り方について学ぶ。	・中堅研(中堅教諭としての連携・協働) ・チーム学校 持続可能な支援を考える研修会(危機対応の具体例と他機関連携) ・しなやかな心の育成シンポジウム ・給食主任研修
		学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。	学校の危機管理に関する事項や危機管理体制を理解し、具体的な改善への取組について学ぶ。	・中堅研(危機管理) ・五年研(教育課題研修会) ・学校安全・危機管理研修会 ・防災教室講習会
		働き方改革・業務改善	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。	国や県の施策について理解し、学校の中核として働き方改革を推進するための取組について学ぶ。	・中堅研(中堅教諭としての連携・協働)
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の個々の状況や背景を分析し、 <b>スクールカウンセラー等と連携・協働</b> し、適切な支援をしている。	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を把握し、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に関する指導法、関係諸機関との連携・協働のあり方について学ぶ。	・中堅研(多様な教育ニーズへの対応) ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を考える研修会	
	ICTや情報・教育データの利活用	ICTや情報・教育データを適切に利活用し、 <b>校務の効率化</b> 及び児童生徒の学習等の改善を図っている。	ICTや情報・教育データの利活用について理解し、校務の効率化及び児童生徒の学習等の改善する方法について学ぶ。	・中堅研(現代の教育課題) ・五年研(教育課題研修会) ・WordPressを使ったHP作成研修会 ・情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会 ・学校における教育活動と著作権研修会	
自ら学ぶ姿勢	ミドルリーダーとして、積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。	校内や校外の研究の成果を同僚と共有し、日々の指導に生かす方法について学ぶ	・中堅研(学び続けることの意義) ・五年研(資質向上研修会) ・新研究主任研修会		

栄養教諭として必要な専門性		研修内容	研修例	
食に関する指導	指導計画の立案と推進	指導計画の立案や全校的な食育の推進体制において、教職員の連携をコーディネートしている。	食に関する指導の全体計画、年間指導計画の作成方法について学ぶ。	・中堅研(食に関する指導の実践) ・五年研(学習指導研修会) ・食に関する指導研修会 ・栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	学校給食の時間における指導	給食時の指導計画を示し、学校給食の教材化を図っている。	給食時の指導計画の作成方法について学ぶ。各教科等の指導内容と関連した献立の作成について学ぶ。	・中堅研(食に関する指導の実践) ・食に関する指導研修会 ・栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	教科等における指導	教職員と連携して、教科等での食に関する指導の内容、評価の計画作成を行っている。	指導内容の計画作成や評価の方法について学ぶ。	・中堅研(食に関する指導の実践) ・五年研(学習指導研修会) ・食に関する指導研修会 ・栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	個に応じた対応・指導	児童生徒の健康状況に応じて、教職員や保護者と連携して対応・指導を行っている。	個別的な相談指導の方法について学ぶ。最新の栄養学について学ぶ。	・中堅研(個に応じた対応・指導) ・五年研(学習指導研修会) ・個別的な相談指導研修会 ・食に関する指導研修会 ・栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	学校給食の管理	栄養管理	児童生徒の実態や学校・地域の特色に応じた献立を作成し、施設に合わせた調理指導をしている。	食事摂取基準の基本的な考え方を学ぶ。食生活の実態把握と分析について学ぶ。地場産物の活用方法を学ぶ。
衛生管理		給食施設や学校の課題を的確に捉え、調理から喫食までの衛生管理について指導・助言をしている。	学校給食施設の改善事例を学ぶ。衛生管理徹底のためのドライ運用・使用のための工夫や動線の確保について学ぶ。	・中堅研(栄養管理・衛生管理) ・五年研(学習指導研修会) ・学校給食の管理基礎・応用研修会 ・学校給食の管理スキルアップ研修会 ・栄養教諭・学校栄養職員等研修会



# やまなし栄養教諭育成指標に基づく研修計画(第3ステージ)

山梨県が求める  
教員像

ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員

教員として  
必要な素養

豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感  
法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力  
ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力

指導力・協働力  
完成期

豊富な経験と広い視野から指導力・協働力を発揮して学校運営を支えるとともに、後進を育成している

栄養教諭育成指標		研修内容	研修例
生徒指導	児童生徒理解	児童生徒の課題を多面的に把握し、課題解決に向けて組織的な取組を推進している。	児童生徒の今日的課題を理解し、チーム学校の生徒指導体制の在り方について学ぶ。 ・ネットトラブル対応について学ぶ研修会 ・コミュニケーション基礎研修会 ・命の教育研修会・不登校対応研修会 ・不登校予防研修会・子供の依存を考える研修会 ・子供の感情コントロールを考える研修会
	道徳教育	自校の教育活動全体を通じて、児童生徒の道徳性を高めるよう組織的な取組を推進している。	学校教育全体と道徳教育の関連を理解し、道徳性涵養のための校内体制構築について学ぶ。
	人権教育	人権が尊重された学校づくりをするために、家庭・地域と協働しながら組織的な取組を推進している。	人権を取り巻く様々な課題についての知識や学校全体の人権教育の在り方について学ぶ。
	特別支援教育	医療や福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。	特別支援教育の現状と課題を理解し、チーム学校の視点から校内支援体制の充実について学ぶ。
	いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向け、関係機関と連携しながら、組織的に対応している。	いじめ・不登校問題や困難を抱える児童生徒等に対する校内体制のあり方について学ぶ。
学校運営	連携・協働	チームとしての学校という視点を持ち、連携・協働による課題解決をリードするとともに、効果的なOJTを推進している。	地域連携の改革の流れを理解し、「チームとしての学校」「地域とともにある学校」について学ぶ。 ・チーム学校 持続可能な支援を考える研修会 ・学校運営・連携・協働を学ぶ研修会
	学校安全	安全管理に精通し、学校安全計画や危機管理マニュアル等の改善が推進されるよう、指導的役割を果たしている。	実践的な学校安全の在り方の理解を深め、組織的な危機管理体制について学ぶ。 ・学校安全教室指導者講習会
	働き方改革・業務改善	学校組織マネジメントの視点から、組織全体を俯瞰し、業務の効率化の具体的提案と推進を図っている。	国や県の施策について理解し、学校全体の業務の効率化を組織的に推進するための取組について学ぶ。 ・教職員の働き方を考える研修会
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	福祉等の関係機関との連携・協働を推進し、組織的な校内支援体制の充実を図っている。	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の現状と課題を理解し、校内支援体制の充実について学ぶ。	
ICTや情報・教育データの利活用	ICTや情報・教育データの利活用により、自校の課題を明確にし、改善に向けて指導的役割を果たしている。	ICTや情報・教育データの利活用の意義や役割を理解し、校内研究の推進について学ぶ。	
自ら学ぶ姿勢	自校の教育課題に対応した研修を企画・立案し、チームとしての学校の組織力を高める取組を推進している。	これからの教職員に求められる資質・能力を理解し、校内研究の推進について学ぶ。	

栄養教諭として必要な専門性		指導計画に基づいた食育を実施・評価し、改善の中心的な役割を果たしている。	教職員や家庭、地域との効果的な連携方法について学ぶ。 目標の設定と評価の方法について学ぶ。	食に関する指導研修会 栄養教諭・学校栄養職員等研修会
食に関する指導	指導計画の立案と推進	指導計画に基づいた食育を実施・評価し、改善の中心的な役割を果たしている。	教職員や家庭、地域との効果的な連携方法について学ぶ。 目標の設定と評価の方法について学ぶ。	食に関する指導研修会 栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	学校給食の時間における指導	学校給食の時間における食に関する指導について、教職員への指導的役割を果たしている。	各教科の指導内容について学ぶ。 学校給食の活用についてさまざまな効果的な指導方法を学ぶ。	食に関する指導研修会 栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	教科等における指導	教科等での食に関する指導の内容・評価について、的確な助言を行っている。	各教科等の指導内容について学ぶ。 教科等における食に関する指導について多くの実践例を学ぶ。	食に関する指導研修会 栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	個に応じた対応・指導	児童生徒の課題を総合的にとらえ、教職員や保護者と連携し、専門的見地から対応・指導している。	健康課題やスポーツ栄養に関する高度な専門知識と実践的な指導力について学ぶ。	個別的な相談指導研修会 食に関する指導研修会 栄養教諭・学校栄養職員等研修会
学校給食の管理	栄養管理	地域において、献立作成や調理指導の方法に関する指導的役割を果たしている。	食事摂取基準の活用について学ぶ。 地場産物の活用ための地域との連携方法について、さまざまな事例を学ぶ。	学校給食の管理スキルアップ研修会 栄養教諭・学校栄養職員等研修会
	衛生管理	地域において、調理場から学校での衛生管理に関する指導的役割を果たしている。	衛生管理に関して、さまざまな取組事例を学ぶ。	学校給食の管理スキルアップ研修会 栄養教諭・学校栄養職員等研修会

# やまなし校長指標に基づく研修計画

校長として  
目指す姿

リーダーシップやマネジメント力を発揮し、信頼される学校経営を行う校長

		校長指標	研修内容	研修例	
校長として必要な素養	マネジメント力	教育者としての資質や的確な判断力、決断力、交渉力、危機管理などの <b>マネジメント力の向上</b> に取り組んでいる。	PDCAサイクルを活用し、学校の強みを最大限に生かした学校経営について学ぶ。	・新校長研修(学校ビジョンの理解と共有) ・新校長研修(学校マネジメントの課題と対応) ・管理職研修(教育長講話・講師講演)	
		学校の実態に関する様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について収集・整理・分析し共有する <b>アセスメント力の向上</b> に取り組んでいる。	学校の現状を適格に把握し、教育目標の実現に向け、教育資源を有効活用や問題解決の方法等について学ぶ。	・新校長研修(学校ビジョンの理解と共有) ・新校長研修(学校マネジメントの課題と対応) ・管理職研修(教育長講話・講師講演)	
		学校内外の関係者の相互作用により、学校の教育力が最大化できる <b>ファシリテーション力の向上</b> に取り組んでいる。	学校内外の関係者と目標を共有し、チーム学校づくりに関して学ぶ。	・新校長研修(学校ビジョンの理解と共有) ・新校長研修(学校マネジメントの課題と対応) ・管理職研修(教育長講話・講師講演)	
	使命感・責任感	確かな教育理念と高い見識を有し、教育に対する県民の期待に応え、信頼される学校づくりを行っている。	教育に対する県民の期待を実感するとともに、教育法規を理解し、信頼される学校経営について学ぶ。	・管理職研修(教育長講話・講師講演)	
	教育的愛情	ふるさと山梨の未来を担う人材を育成するために、児童生徒及び教職員一人一人を信頼・理解し、それぞれの成長を支援している。	人間の成長過程を理解し、児童生徒及び教職員への指導や支援の方法について学ぶ。	・新校長研修(新校長への期待、情報交換会)	
	リーダーシップ	時代の趨勢を見極め、明確なビジョンを示し、学校組織を統率するとともに、「チーム学校」の具現化に向けて取り組んでいる。	学校経営について理解し、リーダーシップと組織経営について学ぶ。	・管理職研修(教育長講話・講師講演)	
自己啓発力	社会情勢や最新の教育課題に関心を持つとともに、豊かな教養を備えるなど、校長としての資質能力を向上させようと常に学び続けている。	今日的な教育課題や学校経営上の諸問題について理解し、校長としての資質や指導力向上について学ぶ。	・新校長研修(新校長への期待、情報交換会)		
校長として必要なマネジメント	教育の管理	経営方針の構築	学校の現状と課題を把握するとともに、国や県等の教育施策等を踏まえ、学校教育目標を策定している。	国や県の教育施策を理解し、学校教育目標策定とその実現の方法について学ぶ。	・管理職研修(教育長講話・講師講演) ・特別支援教育管理職研修
		教育課程の編成	学校教育目標の達成に向け、「社会に開かれた教育課程」を編成・実施している。	「社会に開かれた教育課程」の意義・役割を理解し、学校組織マネジメントについて学ぶ。	
		学校評価・改善	学校評価等を適切に活用し、自校の教育活動を改善している。	特色ある学校づくりについて理解し、学校評価等の学校改善の方法について学ぶ。	
	教職員の管理	人材育成	教職員一人一人の資質能力とキャリアステージについて指導・助言し、自律的な成長を支援している。	教職員のキャリアステージにおける資質能力とその成長を理解し、教職員の人材育成の方法を学ぶ。	・管理職研修(教育長講話・講師講演)
		研修	教職員が主体的に学び続けることができる体制を構築し、校内研修や校内研究を活性化させるとともに、研修履歴を活用して教職員の資質能力の向上について指導・助言している。	校内研修の体制構築や活性化について理解し、教職員の資質能力の向上の方法について学ぶ	
		管理・監督	働き方改革を積極的に推進するとともに、教職員の勤務状況と心身の健康状態等を的確に把握し、職務及び身分の適切な管理・監督をしている。	安心して働きやすい職場づくりについて理解し、教職員の心身の健康維持や教職員の服務規律に関わる管理・監督について学ぶ。	・新校長研修(働き方改革) ・人事管理事務説明会 ・人事異動説明会
		人事評価	公正公平な人事評価を行い、教職員の資質能力の向上及び組織の活性化を図っている。	山梨県の人事評価制度について理解し、教職員の資質能力の向上及び組織の活性化について学ぶ。	・人事管理事務説明会 ・人事評価制度研修会 ・教職員評価管理職研修 ・初任研校長等連絡協議会
	施設・事務の管理	施設・設備の管理及び、会計処理や事務手続きなど学校事務に関する管理を適切に行っている。	職務遂行上必要な事務管理について理解し、円滑な学校事務について学ぶ。	・人事管理事務説明会	
	危機管理・学校安全	組織的な危機管理体制を構築するとともに、危機発生時の未然防止から発生時、事後までを見据えたリスクマネジメントの徹底を図っている。	学校安全のためのリスクマネジメント、クライシスマネジメントについて理解し、組織的な危機管理体制について学ぶ。	・新校長研修(職務上必要な法規と危機管理)	
	連携・協働	学校運営協議会や学校評議員会等を活用し、保護者や地域、関係機関と連携した協働体制を構築している。	学校改善と特色ある学校づくりについて理解し、学校の教育課題解決に向けて保護者や地域、関係諸機関との連携・協働の進め方について学ぶ。	・新校長研修(学校改善と特色ある学校づくり) ・保幼小連携教育研修会	

令和5年度 研修一覧 (教諭) 山梨県教育委員会

本庁(義務・高校・特児・保体)関係 教育センター関係 (法) = 法定研修 (必) = 必修研修 (小)・(中)・(高)・(特) = 各校種 (全) = 全校種

教員等育成指標		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	
教員として必要な素養 ・豊かな人間性と人権意識 ・優れたコミュニケーション能力 ・崇高な使命感と責任感 ・法令の遵守 ・高い倫理観と規範意識 ・常に学び続ける力 ・ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力		(法)〔全〕初任研(教育公務員の服務)	(法)〔全〕中堅研(現代の教育課題)	(必)〔全〕新教頭研修(教頭としての職務と関係法規)	
		(法)〔全〕初任研(学校教育の現状と課題、ストレスマネジメント、接遇)	(法)〔全〕中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)	(必)〔全〕新教頭研修(新教頭に期待すること)	
		(法)〔全〕初任研(博学連携)	(法)〔全〕中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	(必)〔全〕新教頭研修(県の教育の現状と取組)	
		(法)〔全〕初任研(教職としての素養)	(法)〔全〕中堅研(学び続けることの意義)	(必)〔全〕新主幹教諭研修(主幹教諭としての職務と関係法規)	
		(法)〔全〕初任研(情報交換会)	(法)〔全〕中堅研(教科指導等に関わる研修、地域の教育事情<義務>、他校種授業参観<県立>)	(必)〔高特〕県立学校旅費休暇システム操作研修会	
			(必)〔全〕五年研(資質向上研修会)	(小中)学校教育指導重点説明会	
				(必)〔高特〕県立学校PCリーダー研修会	
			(全)特別研修会		
			(高特)県立学校PCリーダーフォローアップ研修会		
			(全)リーダー研修 教務の仕事について学ぶ研修会		
			(必)〔全〕リーダー研修 新教務主任研修会		
			(全)リーダー研修 生徒指導の仕事について学ぶ研修会		
			(必)〔全〕リーダー研修 生徒指導主事・主任研修会		
			(中高特)リーダー研修 学年・学部経営について学ぶ研修会		
			(必)〔中高特〕リーダー研修 新学年主任・新学部主事研修会		
			(高)全国工業教育指導者養成講習会	(全)管理職研修(教頭)	
				(全)(NITS)幼児教育専門研修	
				(全)国内留学生及び民間企業等派遣研修生成果報告会	
				(高)農業科教員実技講習会	
	授業計画		(法)〔全〕初任研(教科指導法123・学習指導要領)	(法)〔全〕中堅研(教科指導等に関わる研修、地域の教育事情<義務>、他校種授業参観<県立>)	
		(小)体育実技講習会	(必)〔全〕五年研(学習指導研修会)		
				(中高)体育実技指導者講習会	
				(全)教科研修	
				(小中特)探究スキル向上をねらう総合的な学習の時間研修会	
				(高特)探究スキル向上をねらう総合的な探究の時間研修会	
				(全)食育研修会	
				(全)クラスづくりに生かす特別活動研修会	
				(全)図書館を活用した授業づくり研修会	
				(全)ESDの視点から捉える環境教育研修会	
		(必)〔小〕経験3年目教員理科指導力アップ研修会		(高)英語指導力向上研修	
				(高)産業・情報技術等指導者養成研修	
学習指導		授業実践	(法)〔全〕初任研(総合的な学習/探究の時間)	(法)〔全〕中堅研(教科指導等に関わる研修、地域の教育事情<義務>、他校種授業参観<県立>)	
			(法)〔全〕初任研(教科指導法123・学習指導要領)	(必)〔全〕五年研(学習指導研修会)	
			(法)〔小〕初任研(プログラミング教育)		(高)英語指導力向上研修
	(法)〔小特小〕初任研(自然観察)			(高)産業・情報技術等指導者養成研修	
	(小)体育実技講習会			(高)全国工業教育指導者養成講習会	
				(中高)体育実技指導者講習会	
				(全)教科研修	
				(小中特)探究スキル向上をねらう総合的な学習の時間研修会	
				(高特)探究スキル向上をねらう総合的な探究の時間研修会	
				(全)食育研修会	
				(全)クラスづくりに生かす特別活動研修会	
				(全)図書館を活用した授業づくり研修会	
				(全)ESDの視点から捉える環境教育研修会	
			(必)〔小〕経験3年目教員理科指導力アップ研修会		(小)(NITS)小学校における外国語教育指導者養成研修
					(小中)(NITS)外国人児童生徒等への日本語指導者養成研修
			(小中)学力向上フォーラム		
			(中)中学校英語科教員対象学習会		
			(小)小学校英語専科教員指導力向上研修会		
			(小)小学校における外国語教育指導者養成研修		
学習評価・授業改善		(法)〔全〕初任研(教科指導法123・学習指導要領)	(法)〔全〕中堅研(教科指導等に関わる研修、地域の教育事情<義務>、他校種授業参観<県立>)		
		(小)体育実技講習会	(必)〔全〕五年研(学習指導研修会)		
				(中高)体育実技指導者講習会	
				(高)英語指導力向上研修	
				(全)教科研修	
			(小中特)探究スキル向上をねらう総合的な学習の時間研修会		
			(高特)探究スキル向上をねらう総合的な探究の時間研修会		

本庁(義務・高校・特児・保体)関係

教育センター関係

[法] = 法定研修 [必] = 必修研修 [小]・[中]・[高]・[特] = 各校種 [全] = 全校種

教員等育成指標		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ		
教員として必要な専門性	生徒指導	[全] 食育研修会				
		[全] クラスづくりに生かす特別活動研修会				
		[全] 図書館を活用した授業づくり研修会				
		[全] ESDの視点から捉える環境教育研修会				
		学級経営	[必][小] 経験3年目教員理科指導力アップ研修会			
			[法][全] 初任研(学級経営基礎、特別活動)		[法][全] 中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)	
			[法][小] 初任研(実践)		[必][全] 五年研(教育課題研修会)	
			[小中] 若手教員グローアップ事業			
			[全] 子供の対人関係力を育む研修会			
			[全] 個と集団の力を育む研修会			
			[全] 学級・集団づくり研修会			
			[全] 学級・授業づくり研修会			
			[全] ストレスマネジメント教育研修会			
			[法][全] 初任研(生徒指導、教育相談、校外学習引率の心構え)		[法][全] 中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)	[全](NITS)中央研修(副校長・教頭)
			[小中] 若手教員グローアップ事業		[必][全] 五年研(教育課題研修会)	
			[全] ネットトラブル対応について学ぶ研修会			
			[全] コミュニケーション基礎研修会			
			[全] 命の教育研修会			
		[全] 不登校対応研修会				
		[全] 不登校予防研修会				
		[全] 子供の依存を考える研修会				
		[全] 子供の感情コントロールを考える研修会				
		[全] 帰国・外国人児童生徒教育研究会				
		[小中] 小・中学校生徒指導主事(主任)研修会				
		[全](NITS)教育相談基幹研修				
		[全](NITS)いじめ問題理解基幹研修				
		[全](NITS)中央研修(リーダー教員育成)				
		[全](NITS)中央研修(中堅)				
		[全](NITS)生徒指導基幹研修				
		道徳教育	[法][全] 初任研(道徳教育)		[法][全] 中堅研(道徳性とその涵養方法)	
					[必][全] 五年研(教育課題研修会)	
					[必][小中特] 道徳教育推進教師研修会	
					[小中特] 道徳教育スキルアップ研修会	
					[必][高特] 道徳教育推進教師研修会	
					[高特] 道徳教育スキルアップ研修会	
		[全](NITS)道徳教育推進研修				
		人権教育	[法][全] 初任研(人権教育)		[法][全] 中堅研(現代の教育課題)	
					[必][全] 五年研(教育課題研修会)	
			[全] 人権教育研修会			
			[全] 人権教育研修会			
		[全](NITS)人権教育推進研修				
		特別支援教育	[法][全] 初任研(特別支援教育基礎・理解)(自立活動)		[法][全] 中堅研(教育現場におけるユニバーサル・デザインの利用)	
			[法][特] 初任研(自立活動)		[必][全] 五年研(教育課題研修会)	
			[全] 特支・指導力向上研修会			
			[全] 特支・指導力向上研修会			
			[全] 特支・指導力向上研修会			
			[全] 特支・指導力向上研修会			
[全] 特支・指導力向上研修会						
[全] 特支・指導力向上研修会						
[必][全] 特支・基礎研修会						
[必][全] 特支・基礎研修会						
[全] 特支・専門研修会						
[必][全] 特支・専門研修会						
[全] 中央研修(リーダー教員育成)						
[全] 特別支援教育管理職研修(副教頭・教頭)						
[全](NITS)中央研修(中堅)						
[特](特総研)特別支援教育専門研修						
いじめ等への対応	[法][全] 初任研(生徒指導、教育相談、人権教育)		[法][全] 中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)			
			[必][全] 五年研(教育課題研修会)			
	[全] いじめに関する研修会					

本庁(義務・高校・特児・保体)関係

教育センター関係

[法] = 法定研修 [必] = 必修研修 [小]・[中]・[高]・[特] = 各校種 [全] = 全校種

教員等育成指標		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
キャリア教育			[全](NITS)いじめ問題理解基幹研修	
	[法][全]初任研(キャリア教育)		[法][全]中堅研(現代の教育課題)	
			[必][全]五年研(教育課題研修会)	
			[全]キャリア教育研修会	
教育課程			[全](NITS)キャリア教育指導者養成研修	
	[法][全]初任研(学習指導要領)	[法][全]中堅研(カリキュラム・マネジメント)	[全](NITS)学校組織マネジメント研修	
			[全]リーダー研修 教務の仕事について学ぶ研修会	
			[必][全]リーダー研修 新教務主任研修会	
		[全](NITS)中央研修(中堅)	[全]学校運営 - 教育課程を学ぶ研修会	
			[全]カリキュラム・マネジメント研修会	
			教科担任制推進フォーラム	
		[全](NITS)中央研修(リーダー教員育成)	[全](NITS)カリキュラム・マネジメント研修	
連携・協働	[法][中]高特中高初任研(部活動の在り方)	[法][全]中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	[必][全]新主幹教諭研修(学校運営への参画)	
	[法][全]初任研(博学連携)		[全]学校運営 - 連携・協働を学ぶ研修会	
			[全]チーム学校 持続可能な支援を考える研修会(危機対応の具体例と他機関連携)	
			[全]しなやかな心の育成ワークショップ	
			[全]給食主任研修	
			[小]保幼小連携教育研修会	
			[全]保健主事研修	
			[全]がん教育指導者研修会	
			[全]薬物乱用防止教育研修会	
			[全]アレルギー疾患対応研修会	
			[全]管理職研修(教頭)	
			[全](NITS)中央研修(副校長・教頭)	
			[全](NITS)学校組織マネジメント研修	
	学校安全	[法][全]初任研(危機管理(情報))	[法][全]中堅研(危機管理)	[必][全]新教頭研修(学校の危機管理)
[法][全]初任研(健康教育(学校安全・保健・食育))		[必][全]五年研(教育課題研修会)	[全]管理職研修(教頭)	
[法][全]初任研(防災教育)		[全](NITS)中央研修(中堅)	[全](NITS)中央研修(副校長・教頭)	
			[必][全]学校安全・危機管理研修会	
			[小中]学校防災対策研究会	
			[全]学校安全教室指導者講習会	
働き方改革・業務改善	[法][全]初任研(教育公務員の服務)	[法][全]中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	[全]教職員の働き方考える研修会	
	[法][全]初任研(ICTの活用)	[全](NITS)中央研修(中堅)	[全](NITS)中央研修(副校長・教頭)	
	[全](NITS)中央研修(リーダー教員育成)		[全]管理職研修(教頭)	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	[法][全]初任研(人権教育、教育相談)	[法][全]中堅研(多様な教育ニーズへの対応)	[全]多様な教育ニーズへの対応を学ぶ研修会	
	[法][全]初任研(特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応)		[全]特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を考える研修会	
ICTや情報・教育データの利活用	[法][全]初任研(危機管理(情報))	[法][全]中堅研(現代の教育課題)		
	[法][小]初任研(プログラミング教育)	[必][全]五年研(教育課題研修会)		
	[法][全]初任研(授業でのICTの活用・実践報告)	[全](NITS)学校教育の情報化指導者養成研修		
			[小]Scratchを使ったプログラミング教育実践研修会	
			[全]mBotを使ったプログラミング教育実践研修会	
			[全]ソニー「MESH」を使ったプログラミング教育実践研修会	
			[全]Google for Educationを使ったICT活用指導力向上研修会	
			[全]iPadを使ったICT活用指導力向上研修会	
			[全]Teamsを使ったICT活用指導力向上研修会	
			[全]WordPressを使ったHP作成研修会	
			[小]ICT活用指導力推進研修会	
			[高特]ICT活用指導力推進研修会	
			[全]ICT活用指導力推進研修会	
			[全]教師のためのPC基本操作研修会	
			[全]情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会	
			[全]学校における教育活動と著作権研修会	
自ら学ぶ姿勢	[法][全]初任研(学び続ける教員について)	[法][全]中堅研(学び続けることの意義)	[全]管理職研修(教頭)	
		[必][全]五年研(資質向上研修会)		
			[必][全]新研究主任研修会	

令和5年度 研修一覧 (養護教諭) 山梨県教育委員会

本庁(義務・高校・特児・保体)関係

教育センター関係

[法][全] = 法定研修 [必][全] = 必修研修 [小]・[中]・[高]・[特] = 各校種 [全] = 全校種

教員等育成指標		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	
教員として必要な素養	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな人間性と人権意識</li> <li>優れたコミュニケーション能力</li> <li>崇高な使命感と責任感</li> <li>法令の遵守</li> <li>高い倫理観と規範意識</li> <li>常に学び続ける力</li> <li>ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力</li> </ul>	[必][全] 初任研(教育公務員の服務)	[必][全] 中堅研(現代の教育課題)	[小中] 学校教育指導重点説明会	
		[必][全] 初任研(学校教育の現状と課題、ストレスマネジメント、接遇)	[必][全] 中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)		
		[必][全] 初任研(博学連携)	[必][全] 中堅研(中堅教諭としての連携・協働)		
		[必][全] 初任研(教職としての素養)	[必][全] 中堅研(学び続けることの意義)		
		[必][全] 初任研(情報交換会)	[必][全] 中堅研(教科指導等に関わる研修)		
			[必][全] 五年研(資質向上研修会)		
			[全] 国内留学生及び民間企業等派遣研修生成果報告会		
			[全] リーダー研修 教務の仕事について学ぶ研修会		
			[全] リーダー研修 生徒指導の仕事について学ぶ研修会		
			[中高特] リーダー研修 学年・学部経営について学ぶ研修会		
	[全] 特別研修会				
教職としての専門性	児童生徒理解	[必][全] 初任研(教育相談、校外学習引率の心構え)	[必][全] 中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)		
			[必][全] 五年研(教育課題研修会)		
			[全] 帰国・外国人児童生徒教育研究会		
			[小中] 小・中学校生徒指導主事研修会		
			[全] 中央研修(中堅)		
			[全] (NITS) 生徒指導期間研修		
			[全] ネットトラブル対応について学ぶ研修会		
			[全] コミュニケーション基礎研修会		
			[全] 命の教育研修会		
			[全] 不登校対応研修会		
			[全] 不登校予防研修会		
			[全] 子供の依存を考える研修会		
			[全] 子供の感情コントロールを考える研修会		
		道徳教育	[必][全] 初任研(道徳教育)	[必][全] 中堅研(道徳性とその涵養方法)	
				[必][全] 五年研(教育課題研修会)	
			[小中特] 道徳教育スキルアップ研修会		
			[高特] 道徳教育スキルアップ研修会		
	生徒指導	人権教育	[必][全] 初任研(人権教育)	[必][全] 中堅研(現代の教育課題)	
				[必][全] 五年研(教育課題研修会)	
				[全] 人権教育研修会	
	特別支援教育	[必][全] 初任研(特別支援教育基礎・理解)	[必][全] 中堅研(教育現場におけるユニバーサルデザインの利用)		
		[必][全] 初任研(特別支援の養護理解)	[全] 中央研修(中堅)		
			[必][全] 五年研(教育課題研修会)		
			[全] 特支・指導力向上研修会		
			[全] 特支・指導力向上研修会		
			[全] 特支・指導力向上研修会		
			[全] 特支・指導力向上研修会		
			[全] 特支・指導力向上研修会		
			[全] 特支・基礎研修会		
		[全] 特支・基礎研修会			
		[全] 特支・専門研修会			
		[全] 特支・専門研修会			
いじめ等への対応	[必][全] 初任研(教育相談、人権教育)	[必][全] 中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)			
		[必][全] 五年研(教育課題研修会)			
		[全] いじめに関する研修会			
学校運営	連携・協働	[必][全] 初任研(博学連携)	[必][全] 中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	[全] 学校運営 - 連携・協働を学ぶ研修会	
				[全] チーム学校 持続可能な支援を考える研修会(危機対応の具体例と他機関連携)	
				[全] (NITS) 学校組織マネジメント研修	
				[全] しなやかな心の育成ワークショップ	
				[全] 給食主任研修	
				[小] 保幼小連携教育研修会	
				[全] 保健主事研修	
				[全] がん教育指導者研修会	
		[全] 薬物乱用防止教育研修会			

本庁(義務・高校・特児・保体)関係

教育センター関係

[法][全] = 法定研修 [必][全] = 必修研修 [小]・[中]・[高]・[特] = 各校種 [全] = 全校種

教員等育成指標		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
	学校安全	[全]アレルギー・疾患対応研修会		
		[必][全]初任研(危機管理(情報))	[必][全]中堅研(危機管理)	
		[必][全]初任研(健康教育(学校安全・保健・食育))	[必][全]五年研(教育課題研修会)	
		[必][全]初任研(防災教育)		
			[全]中央研修(中堅)	
			[全]学校安全教室指導者講習会	
	働き方改革・業務改善	[必][全]初任研(教育公務員の服務)	[必][全]中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	[全]教職員の働き方を考える研修会
		[必][全]初任研(ICTの活用)		
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	[必][全]初任研(人権教育、教育相談)	[必][全]中堅研(多様な教育ニーズへの対応)	[全]多様な教育ニーズへの対応を学ぶ研修会
		[必][全]初任研(特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応)	[全]特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を考える研修会	
	ICTや情報・教育データの利活用	[必][全]初任研(危機管理(情報))	[必][全]中堅研(現代の教育課題)	
		[必][全]初任研(授業でのICTの活用)	[必][全]五年研(教育課題研修会)	
			[全]WordPressを使ったHP作成研修会	
			[全]情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会	
			[全]学校における教育活動と著作権研修会	
自ら学ぶ姿勢	[必][全]初任研(学び続ける教員について)	[必][全]中堅研(学び続けることの意義)		
		[必][全]五年研(資質向上研修会)		

養護教諭として必要な専門性	保健管理	[必][全]初任研(学校保健活動の推進と養護教諭の役割)	[必][全]中堅研(保健管理について)	
		[必][全]初任研(アレルギー対応、学校における感染症対策)	[必][全]五年研(学習指導研修会)	
		[必][全]初任研(救急処置)	[養]緊急時対応研修会	
			[養]救急処置研修会	
			[全]養護教諭研修	
			[全](NITS)健康教育指導者養成研修	
		[必][全][特]医療ケア専門研修		
	保健教育	[必][全]初任研(保健教育の意義と進め方)	[必][全]中堅研(保健教育について、保健学習授業改善)	
		[必][全]初任研(保健教育実践報告)	[必][全]五年研(学習指導研修会)	
			[全]養護教諭研修	
	健康相談・保健指導	[必][全]初任研(健康相談実践基礎、学校保健の課題とその対応)	[必][全]中堅研(保健室経営について)	
			[必][全]五年研(学習指導研修会)	
			[養]健康相談実践基礎研修会	
			[全]養護教諭研修	
			[全]事例検討研修会	
		[全]学校保健ステップアップ支援事業地域事例検討研修会		
	保健室経営	[必][全]初任研(保健室経営12)	[必][全]中堅研(保健室経営について)	
			[必][全]五年研(学習指導研修会)	
			[全]養護教諭研修	
	保健組織活動	[必][全]初任研(学校保健活動の評価)	[必][全]中堅研(保健管理について)	
		[必][全]五年研(学習指導研修会)		
		[養]緊急時対応研修会		
		[養]健康相談実践スキルアップ研修会		
		[全]養護教諭研修		

令和5年度 研修一覧 (栄養教諭) 山梨県教育委員会

本庁(義務・高校・特児・保体)関係

教育センター関係

[法][全] = 法定研修 [必][全] = 必修研修 [小]・[中] = 各校種 [全] = 全校種(高特含む)

教員等育成指標		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	
教員として必要な素養	・豊かな人間性と人権意識 ・優れたコミュニケーション能力 ・崇高な使命感と責任感 ・法令の遵守 ・高い倫理観と規範意識 ・常に学び続ける力 ・ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力	[必][全]初任研(教育公務員の服務)	[必][全]中堅研(現代の教育課題)	[小中]学校教育指導重点説明会	
		[必][全]初任研(学校教育の現状と課題、ストレスマネジメント、待遇)	[必][全]中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)		
		[必][全]初任研(博学連携)	[必][全]中堅研(中堅教諭としての連携・協働)		
		[必][全]初任研(教職としての素養)	[必][全]中堅研(学び続けることの意義)		
		[必][全]初任研(情報交換会)	[必][全]中堅研(教科指導等に関わる研修)		
			[必][全]五年研(資質向上研修会)		
			[全]国内留学生及び民間企業等派遣研修生成果報告会		
			[全]リーダー研修 教務の仕事について学ぶ研修会		
			[全]リーダー研修 生徒指導の仕事について学ぶ研修会		
			[中高特]リーダー研修 学年・学部経営について学ぶ研修会		
教員として必要な専門性	児童生徒理解	[必][全]初任研(教育相談、校外学習引率の心構え)	[必][全]中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)		
			[必][全]五年研(教育課題研修会)		
			[全]帰国・外国人児童生徒教育研究会		
			[小中]小・中学校生徒指導主事研修会		
			[全]中央研修(中堅)		
			[全]ネットトラブル対応について学ぶ研修会		
			[全]コミュニケーション基礎研修会		
			[全]命の教育研修会		
			[全]不登校対応研修会		
			[全]不登校予防研修会		
			[全]子供の依存を考える研修会		
			[全]子供の感情コントロールを考える研修会		
		道徳教育	[必][全]初任研(道徳教育)	[必][全]中堅研(道徳性とその涵養方法)	
			[必][全]五年研(教育課題研修会)		
			[小中特]道徳教育スキルアップ研修会		
			[高特]道徳教育スキルアップ研修会		
	生徒指導	人権教育	[必][全]初任研(人権教育)	[必][全]中堅研(現代の教育課題)	
				[必][全]五年研(教育課題研修会)	
				[全]人権教育研修会	
	特別支援教育	[必][全]初任研(特別支援教育基礎・理解)	[必][全]中堅研(教育現場におけるユニバーサル・デザインの利用)		
			[必][全]五年研(教育課題研修会)		
			[全]中央研修(中堅)		
			[全]特支・専門研修会		
			[全]特支・指導力向上研修会		
			[全]特支・指導力向上研修会		
			[全]特支・指導力向上研修会		
			[全]特支・指導力向上研修会		
			[全]特支・指導力向上研修会		
			[全]特支・基礎研修会		
			[全]特支・基礎研修会		
			[全]特支・専門研修会		
		いじめ等への対応	[必][全]初任研(教育相談、人権教育)	[必][全]中堅研(学級経営に必要なコミュニケーション技術)	
				[必][全]五年研(教育課題研修会)	
			[全]いじめに関する研修会		
	学校運営	連携・協働	[必][全]初任研(博学連携)	[必][全]中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	[全]学校運営 - 連携・協働を学ぶ研修会
					[全](NITS)学校組織マネジメント研修
				[全]チーム学校 持続可能な支援を考える研修会(危機対応の具体例と他機関連携)	
				[全]しなやかな心の育成ワークショップ	
				[全]給食主任研修	
				[小]保幼小連携教育研修会	
			[全]保健主事研修		
			[全]がん教育指導者研修会		
			[全]薬物乱用防止教育研修会		
			[全]アレルギー-疾患対応研修会		
	[必][全]初任研(危機管理(情報))	[必][全]中堅研(危機管理)			



本庁(義務・高校・特児・保体)関係

教育センター関係

[法][全] = 法定研修 [必][全] = 必修研修 [小]・[中] = 各校種 [全] = 全校種(高特含む)

教員等育成指標		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
学校安全		[必][全]初任研(健康教育(学校安全・保健・食育))	[必][全]五年研(教育課題研修会)	
		[必][全]初任研(防災教育)	[全]中央研修(中堅)	
		[全]学校安全教室指導者講習会		
働き方改革・業務改善		[必][全]初任研(教育公務員の服務)	[必][全]中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	
		[必][全]初任研(ICTの活用)		[全]教職員の働き方を考える研修会
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		[必][全]初任研(人権教育、教育相談)	[必][全]中堅研(中堅教諭としての連携・協働)	[全]多様な教育ニーズへの対応を学ぶ研修会
		[必][全]初任研(特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応)		[全]特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を考える研修会
ICTや情報・教育データの利活用		[必][全]初任研(危機管理(情報))	[必][全]中堅研(現代の教育課題)	
		[必][全]初任研(授業でのICTの活用)	[必][全]五年研(教育課題研修会)	
	[全]WordPressを使ったHP作成研修会			
	[全]情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会			
		[全]学校における教育活動と著作権研修会		
自ら学ぶ姿勢		[必][全]初任研(学び続ける教員について)	[必][全]中堅研(学び続けることの意義)	
			[必][全]五年研(資質向上研修会)	

栄養教諭として必要な専門性	指導計画の立案と推進	[必][全]初任研(栄養教諭の役割、食に関する指導の在り方)	[必][全]中堅研(食に関する指導の実践)		
			[必][全]五年研(学習指導研修会)		
		[必][全]初任研(食に関する指導研修会)		[全]食に関する指導研修会	
	学校給食の時間における指導	[必][全]初任研(学校給食の活用)	[必][全]中堅研(食に関する指導の実践)		
				[全]食に関する指導研修会	
				[小中]栄養教諭・学校栄養職員等研修会	
	食に関する指導	[必][全]初任研(学級活動における食に関する指導、食育)	[必][全]中堅研(食に関する指導の実践)		
		[必]初任研(食に関する指導の実践報告、食に関する指導の実際)	[必][全]五年研(学習指導研修会)		
		[必][全]初任研(総合的な学習/探究の時間)		[全]食に関する指導研修会	
	個に応じた対応・指導			[小中]栄養教諭・学校栄養職員等研修会	
		[必][全]初任研(食物アレルギー対応)	[必][全]中堅研(個に応じた対応・指導)		
			[必][全]五年研(学習指導研修会)		
				[栄]個別的な相談指導研修会	
				[全]食に関する指導研修会	
				[小中]栄養教諭・学校栄養職員等研修会	
	学校給食の管理	栄養管理	[必][全]初任研(栄養管理)	[必][全]中堅研(栄養管理・衛生管理)	
				[必][全]五年研(学習指導研修会)	
					[栄]学校給食の管理基礎・応用研修会
			[栄]学校給食の管理スキルアップ研修会		
[小中]学校給食栄養・衛生管理研修会		[小中]調理実技講習			
			[小中]栄養教諭・学校栄養職員等研修会		
衛生管理	[必][全]初任研(衛生管理)	[必][全]中堅研(栄養管理・衛生管理)			
		[必][全]五年研(学習指導研修会)			
			[栄]学校給食の管理基礎・応用研修会		
			[栄]学校給食の管理スキルアップ研修会		
	[小中]学校給食栄養・衛生管理研修会		[小中]栄養教諭・学校栄養職員等研修会		

令和5年度 研修一覧 (校長) 山梨県教育委員会

本庁(義務・高校・特児・保体)関係

ンター関係

[小中]・[特] = 各校種 [全] = 小・中・高・特

校長指標		研修名	
校長として必要な素養	マネジメント力	[必] 新校長研修(学校ビジョンの理解と共有)	
		[必] 新校長研修(学校マネジメントの課題と対応)	
		[全] 管理職研修(教育長講話・講師講演)	
		[全] (NITS)中央研修(校長)	
	使命感・責任感	[全] 管理職研修(教育長講話・講師講演)	
	教育的愛情	[必] 新校長研修(新校長への期待、情報交換会)	
	リーダーシップ	[全] 管理職研修(教育長講話・講師講演)	
自己啓発力	[必] 新校長研修(新校長への期待、情報交換会)		
校長として必要なマネジメント	教育の管理	経営方針の構築	[全] 管理職研修(教育長講話・講師講演)
			[全] (NITS)中央研修(校長)
		教育課程の編成	[全] 特別支援教育管理職研修
		[全] (NITS)中央研修(校長)	
	学校評価・改善	[全] (NITS)中央研修(校長)	
	教職員の管理	人材育成	[全] 管理職研修(教育長講話・講師講演)
			[全] (NITS)中央研修(校長)
		研 修	[必] 新校長研修(働き方改革)
			[小中] 人事管理事務説明会
			[小中] 人事異動説明会
			[全] 初任研校長等連絡協議会
		人事評価	[小中] 人事評価制度研修会
			[高特] 教職員評価管理職研修
	施設・事務の管理	[小中] 人事管理事務説明会	
	危機管理・学校安全	[必] 新校長研修(職務遂行上必要な法規と危機管理)	
		[全] (NITS)中央研修(校長)	
	連携・協働	[必] 新校長研修(学校改善と特色ある学校づくり)	
		[小] 保幼小連携教育研修会	

# 研修履歴の記録と活用について

## 1 研修履歴について

令和5年度より、研修履歴の記録が法令で義務付けられた。総合教育センターでは、すでに2012年度から研修履歴を電子データ化し、センターホームページから閲覧できるようになっている。令和5年度からは、総合教育センター主催の研修会だけでなく、県教委・市町村教委・教育事務所・NITS等主催の研修や校内研修を含むその他の研修についても履歴に反映させることができるようになった。教職員が各自で研修情報を入力し、その内容を所属長が承認することで履歴票に反映される。研修情報の入力は、センターホームページの「研修 MyPage」より行うことができる。

### (1) 「研修履歴票」

2012年度以降に所属の教職員が受講したすべての研修会一覧。国から出されたひな形を参考に、山梨県独自の内容にしている。研修会を3つに分類し、自動で履歴に反映されるものと、各自で入力が必要なものを明確にした。Excel形式でダウンロードできる。

#### 研修会の分類

1. 総合教育センター主催の研修→出席すれば自動で履歴に反映
2. 県教委・市町村教委・教育事務所・NITS等主催の研修→各自で入力し、所属長による承認が必要
3. その他の研修→各自で入力し、所属長による承認が必要

\*1については研修会の出欠席確定後、2・3に関しては、所属長の承認後に履歴に反映される仕様となっている。

## 研修履歴票の出カイメージ

所属：00000000000000000000		研修履歴票（シート）（山梨県教育委員会）																		発行日：2023/10/1	
年度	研修会名	総合教育センター主催の研修						県教委・教育事務所・市町村教委・NITS等主催の研修						その他の研修（市内研修を含む）						出席	欠席
		研修種別	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修種別	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修種別	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者		
2022	研修会名（仮称、印刷）	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2021	研修会名	センター主催研修会の一覧						県教委・教育事務所・市町村教委・NITS等主催の研修会の一覧						その他の研修会の一覧						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2020	研修会名	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	研修	研修内容	研修実施日	研修実施時間	研修実施場所	研修実施者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (2) 「面談用シート」

管理職と所属教職員の面談時に活用できるシート。本年度、過去3年間、全期間を選択して出力することができる。中堅研対象者のみ、中堅研の受講状況の出力も可能。例えば、年度始めの面談時には過去3年間のデータをもとに今年度の研修計画について指導助言を行い、年度末の面談時には本年度の受講データをもとに成果や課題について確認するなどして、各校の実態に合わせて活用できる。

## 面談用シートの印刷イメージ

山田 太郎 の研修履歴

18年度 義務教育 生徒指導主事 進路指導主事 児童教育 本年度の担当テスト 教科入力テスト

※育成指標の「学」は「義務教育・児童教育の専門領域」に読み替えてください

本年度 3年間 全期間 中絶研

必須記録研修				必須記録研修以外で任命権者が必要と認める研修							
年度	分類	研修講座名	業	学	生	特	マ	日付	研修名	主催者/形態	指標
2022	担当	富津市立立川小学校 義務教育 生徒指導主事 進路指導主事 児童教育 本年度の担当テスト						2022 12/01	研修名入力テスト1	校内研修	業学
2022	研修	新たな授業づくり研修 (要履)						2023 02/14	研修名入力テスト2	研修機関	業
2022	研修	児童指導員としての授業づくりを学ぶ研修 (要履)						2023 02/25	研修名入力テスト3	校内研修	業特
2022	研修	児童指導員としての授業づくりを学ぶ研修 (要履)							研修名入力テスト3		業特
2022	研修	必須記録研修の振り返り入力テスト									

  

年度	分類	研修講座名	業	学	生	特	マ	日付	研修名	主催者/形態	指標
2021	担当	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員						2022 11/10	Qへの活用方法	校内研修 (協プロ)	学生
2021	担当	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員						2022 11/13	1人1人目標を設定した授業づくり	学校教員研究会等	学生
2021	研修	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員						2022 11/13	1人1人目標を設定した授業づくり	学校教員研究会等	学生
2021	研修	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員						2022 11/30	思考を促す授業の仕方	市町村教育委員会	業展

  

年度	分類	研修講座名	業	学	生	特	マ	日付	研修名	主催者/形態	指標
2021	担当	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員									
2021	研修	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員									
2021	研修	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員									
2021	研修	富津市立立川小学校 義務教育 2年担任 進路指導員									

履歴や振り返りの入力期限や、いつ承認するかといった運用の方法については、センターでは示していない。

## 2 研修履歴の承認について

所属の教職員が履歴に入力を行った後、所属長による承認が必要となる。研修の内容や振り返り等の記述を確認の上、研修として承認するにふさわしいと判断した場合には承認して履歴に反映させる。承認の際は、所属長専用ページへのログインが必要となる。その際使用する「所属長パスワード」は4月の申込事務説明会で配付している。

各校の承認の状況等は、各教育事務所・市町村教委も専用の研修情報システムにログインすることで、閲覧することができる。

承認の参考となるよう、県教委主催の研修会で承認の対象となるものについては、一覧の PDF ファイルをセンターホームページに掲載している。

## 3 研修履歴活用に関する今後の検討事項

- ・校内研や職員会議で研修 MyPage からの研修情報入力の方法や、面談シートの活用について周知を図っている学校が多い。それに合わせて、運用方法についてのセンターへの問い合わせが増えている。センターでは、システムの提供と管理を行うため、具体的な運用方法等についてどこが示していくのか明確にしていくことが望ましい。
- ・所属長による承認について、年間でまとめて承認することを想定してシステムを構築したため、一度承認するとロックがかかる仕様となっている。所属する職員数が多い学校などは、年に数回に分けて承認することが考えられるため、今後どのような仕様が利用しやすいか検討が必要。
- ・県費負担以外の職員（市町村担等）の履歴についてどのように記録していくのか。
- ・履歴に表示する内容について、現場からの意見も参考にしてよりよいものにしていくよう検討する。

## ○研修履歴入力フォームのイメージ

山田 太郎 の研修情報入力フォーム

登録済

本年度の基本情報

本年度の担当（学年、校務分掌等） ※例）1年担任 教務	本年度の担当テスト
教科	教科入力テスト

本年度の「必須記録研修」の振り返り

必須記録研修の振り返り ※150字まで記述できます。	必須記録研修の振り返り入力テスト
-------------------------------	------------------

「必須記録研修以外で任命権者が必要と認める研修」の振り返り

本年度に受講した研修を3つまで記録できます。

クリア

実施日 ※複数日にわたる研修の場合は 初日を入力してください。	2022-12-01	×
研修名 ※100字まで記述できます。	研修名入力テスト1	
主催者/形態	<input checked="" type="radio"/> 校内研修 <input type="radio"/> 校内研修（若プロ） <input type="radio"/> 校内研修（中堅研） <input type="radio"/> 市町村教育委員会 <input type="radio"/> 要請訪問 <input type="radio"/> 学校教育研究会等 <input type="radio"/> その他	
育成指標	<input checked="" type="checkbox"/> 教職に必要な素養 <input checked="" type="checkbox"/> 学習指導 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> 特別支援教育 <input type="checkbox"/> ICT利活用	
研修の振り返り ※200字程度で記述してください。 ※複数日にわたる研修の場合は 日程も記載下さい。	研修の振り返りテスト1	

センター主催以外の研修を受講した場合に入力する、履歴への登録フォームのイメージ。「実施日」「研修名」「主催者」「実施形態」「育成指標との関連」「研修の振り返り」等を入力し、所属長が承認する。

また、センター主催研修会の振り返り等の入力も可能。

# ○研修履歴一覧（Excel出力）のイメージ

研修履歴一覧シート（山梨県教育委員会）

作成日：2022/9/1

所属：〇〇市立〇小学校		名称：〇〇〇〇																					
年度	特に重点的に取り組んだ 有償研修項目	総合教育センター主催の研修					県教委、中央研修、NITS等主催の研修					所属長の決済が必要な研修					その他の研修（校内研修を含む）						
		研修種別	関連する有償研修項目	キャリア ステージ	研修名称	研修実施方法	研修実施日・期間	受講した気づき・所感	研修種別	関連する有償研修項目	キャリア ステージ	研修名称	研修主催者	研修実施方法	研修実施日・期間	受講した気づき・所感	研修テーマ	研修名称	研修主催者	研修実施方法	研修実施日・期間	受講した気づき・所感	
2022	学校運営（連携・協働）	必修	生涯指導 学校運営	S2	生涯指導主事研修会	オンデマンド 研修	〇〇〇〇/〇〇/〇〇					<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣								<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣			
		希望	連携・協働	S2	チーム学校 持続可能な立 場を考へる研修会	オンライン研 修	〇〇〇〇/〇〇/〇〇						<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣								<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣		
2021	学習指導	法定研修	学習指導	S2	中堅教諭等資質向上研 修会必修1-1	参加研修	〇〇〇〇/〇〇/〇〇					<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
		希望	生涯指導道德教育	S2	小中特 道德教育推進研 修研修会	一部オンライ ン研修	〇〇〇〇/〇〇/〇〇						<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣										
2020	学習指導	希望	学習指導	S1	小特 関係科 授業力 アップ研修会	参加研修	〇〇〇〇/〇〇/〇〇					<input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣			〇〇〇〇/〇〇/〇〇		学習指導	道徳研究発表会	〇〇大学	<input type="checkbox"/> 研修 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣		〇〇〇〇/〇〇/〇〇	
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											
												<input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> オンデマンド <input type="checkbox"/> 講師派遣											

**県教委・中央研修・NITS等主催の研修**  
この欄は、センターホームページの研修マイページから、各自で入力したものが出力されます。所属長の承認を受けて行う研修で、センター主催以外のものが対象となります。

**その他の研修（校内研修を含む）**  
この欄は、センターホームページの研修マイページから、各自で入力したものが出力されます。大学で行われる研修など、職務としてではなく、個人の希望で参加するもので、履歴に反映させるためには、所属長の承認が必要となります。

**総合教育センター主催研修の研修**  
この欄は、申し込み情報システム・マイページとリンクしており、自動で出力されます。  
「気づき・所感」の部分のみ、各自で入力したものが出力されます。

この欄は、管理職との面談等を経て、各自でその年の重点項目を決め、入力します。

★印の項目は、プルダウンリストから選択できるようにする予定です。

★	★	★	★
中央研修	学習指導	S1	国
県必修	生涯指導（学級経営）	S2	県教委
NITS	生涯指導（児童生涯指導）	S3	市町村教委
市町村必修	生涯指導（道徳教育）		教育事務所
教育事務所必修	生涯指導（人材教育）		その他

# ○人事面談用シートのイメージ

山田 太郎 の研修履歴		16年目	義塾教諭 生徒指導主事 進路指導主事 司書教諭	本年度の担当テスト	教科入力テスト	
※育成指標の「学」は「義塾教諭・栄養教諭の専門領域」に読み替えてください						
本年度	3年間	全期間	中堅研			
必須記録研修			必須記録研修以外で任命権者が必要と認める研修			
年度	分類	研修講座名	素	学	生	特 ICT
2022		宝達志水町立相見小学校 義塾教諭 生徒指導主事 進路指導主事 司書教諭 本年度の担当テスト				
2022	OTGA	新たな授業づくり研修 <b>要項</b>				
2022	課題	障害特性に応じた授業づくり④見え方が気になる児童生徒の「見る力」を高める支援 <b>要項</b>		○		
2022	課題	障害のある子どもの気になる行動の理由と対応について <b>要項</b>		○		
2022	振返	必須記録研修の振り返り入力テスト				
年度	分類	研修講座名	素	学	生	マ
2021		宝達志水町立相見小学校 教諭 2年担任、進路指導課				
2021	担当	通級指導教室担当者研修 <b>要項</b>		○		
2021	課題	通級指導教室の授業づくり①LD等通級指導教室 <b>要項</b>		○		
2021	振返	3年目研修では、授業での改善の他にも学級経営の面で多くの気づきがあった。また、実験の実験事例を紹介していただき、実験で得られることの大切さを感じた。今後は積極的に授業の中でできることから実験を行ってみたいと思った。				
日付	研修名	主催者/形態	指標			
2022 12/01	研修名入力テスト1	校内研修	素学			
研修の振り返りテスト1						
2023 01/14	研修名入力テスト2	要請訪問	素			
研修の振り返りテスト2						
2023 01/11	研修名入力テスト3	校内研修	素特 ICT			
研修の振り返りテスト3						
日付	研修名	主催者/形態	指標			
2022 11/10	Q-Uの活用方法	校内研修(若プロ)	学生			
【特別支援教育コーディネーター〇〇先生による講義・協議】Q-Uの検査結果の見方や分析方法について理解し、実際に自分のクラスのある生徒についての支援方法について協議した。グループで出た対応策を早速実施し、早い段階で不登校の未然防止に努めていきたい。						
2022 11/19	1人1人台端末を活用した授業づくり	学校教育研究会等	学業			
【高等学校長協会 理科部会の夏季研修会 〇〇大学ママ教授の講義・演習】新しい学習指導要領における理科の授業づくりと学習評価について講義・演習を通して学んだ。深い学びの実現のためには、単元や授業のまとまりの中で授業をデザインする力が必要であると感じた。						
2022 11/30	思考を促す板書の仕方	市町村教育委員会	素養			
【〇〇先生の講義。模範授業】先輩教員の右授業を受けて、先輩教員の構造的な板書の事例を知った。これまで独りでやっていたが、どのように黒板を使えばいいか、自分のアイデアもブラッシュアップすることができた。						
年度	分類	研修講座名	素	学	生	マ
2020		宝達志水町立相見小学校 教諭				
2020	担当	新任通級指導教室担当者研修 <b>要項</b>			○	
2020	課題	通級指導教室の授業づくり①LD等通級指導教室 <b>要項</b>		○		
2020	振返	未登録				
日付	研修名	主催者/形態	指標			
未登録						

学校管理職との面談等で研修履歴を活用する場合の「面談用シート」(A4縦版)イメージ。その年度のみデータや、過去3年間のみデータ等が出力できる。

公立学校教員採用選考試験の早期化・複数回実施等について  
方向性の提示

令和5年5月31日  
文部科学省

はじめに

令和4年10月、公立学校教員採用選考に関し全国的な採用倍率の低下が続く中、教育の要である教師に質の高い人材を確保するために、教師志願者の増加が必要であるとの認識のもと、教員採用選考試験の在り方に関して、文部科学省と各都道府県・指定都市教育委員会、大阪府豊能地区教職員人事協議会、日本教育大学協会及び全国私立大学教職課程協会を構成員とし、独立行政法人教職員支援機構、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国特別支援学校長会、全国国公立幼稚園・こども園長会、全日本私立幼稚園連合会及び全国知事会をオブザーバーとして協議会を立ち上げ、教員採用選考試験の早期化や複数回の実施を含む改善の在り方について、全8回の議論を行いました。

教員採用選考における採用倍率の低下という状況を受け、質の高い教師を十分に確保できなくなるのではないかという懸念は、一部の地域における問題ではなく、全国的な問題であり、今回の協議会における情報交換や意見交換、文部科学省がこれまでに行った調査等を通じて、いずれの教育委員会においても、危機意識をもって、今後の対応を模索している状況が共有されました。

本文書は、この間の協議を通じて共有された論点、課題点等を踏まえ、文部科学省として、今後の教員採用選考試験の改善の方向性を提示するものです。

公立学校教員の採用選考はもとより任命権者である教育委員会の権限と責任に基づいて実施されるものでありますが、国、教育委員会、大学をはじめ、全ての関係者が連携・協力して、本文書の趣旨を踏まえ、地域の実情に応じ、教員採用選考試験の早期化や複数回実施を含め、質の高い教師を十分に確保するための工夫改善に積極的に取り組んでいただくことを期待します。



## I. 近年の教員採用選考試験をめぐる状況

- 公立学校の教員採用選考試験の採用倍率は小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等のいずれの区分においても近年低下傾向にあり、令和4年度教員採用選考試験における採用倍率は全学校種総計で3.7倍となっています。このような教員採用選考試験の採用倍率の低下傾向は、大量退職等に伴う採用者数の増加が大きく影響しています。

受験者数も校種を問わず減少傾向にあります。内訳を見ると、大量採用、採用倍率の低下という近年の状況変化を受けて既卒受験者層が減少したことによる影響が大きくなっていますが、教員免許状を取得しながらも教員採用選考を受験することなく、他の職種に流れる層も相当数いるのが現状です。

校種ごとに見ると、小学校については新卒受験者数が横ばいである一方、特に高校については新卒受験者数も減少しています。また、教員として採用された者のうち、特に高校においては、教員養成大学・学部出身者は2割にも満たず、一般大学・学部の出身者が多いことから、他の公務員や民間企業と併願する者が多いことが推測されます。

- 令和4年12月19日の中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成」で指摘されているように、現在の教員採用選考試験の実施時期は、4～5月に出願、7月に筆記試験を中心とした1次試験、8月に面接や模擬授業等の実技を中心とした2次試験を実施し、9～10月に合格発表を公表するのが一般的です。少なくとも20年以上このスケジュールに大きな変化は見られません。

- 一方、民間企業の就職・採用活動については、政府から経済団体等に対する要請<sup>1</sup>において、広報活動開始は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始は卒業・修了年度の6月1日以降、正式な内定日は卒業・修了年度の10月1日以降とされているところです。ただし、学生が就職活動を開始する時期、内々定を獲得する時期、就職活動を終了する時期はますます

---

<sup>1</sup> 「2024（令和6）年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請等について」（令和5年4月10日 内閣官房内閣審議官、文部科学省高等教育局長、厚生労働省人材開発統括官、経済産業省経済産業政策局長）

早期化しており、民間企業の選考開始日（6月1日）までに、就職活動を事実上終了している学生も増加しています。

民間企業等の就職活動の早期化により、就職活動を不安に思い、少しでも安定した就職先を早期に決めたいと考える学生は、教師を目指していても先に民間企業に就職先を決めてしまうという指摘もあります。

また、国家公務員総合職春試験の実施時期の前倒しや地方公務員の採用試験の日程についても、早まってきている状況にあります。国家公務員については、従来4月下旬だった第1次試験日を令和5年度試験は4月9日に実施し、さらに令和6年度以降は3月中旬に実施することを予定しています。また、地方公務員上級試験（大卒程度）についても、昭和の時代は7月後半に一斉実施されていましたが、30年程前から徐々に日程が早まってきており、現在では多くの自治体で6月第3日曜日に実施、また一部の自治体では5月に実施している自治体もあります。

- このような状況に鑑み、今回の協議会で、情報交換や意見交換をしている間にも、一部の教育委員会においては危機感をもって、既に、教員採用選考試験の早期化や複数回実施の観点から、一部の対象者について筆記試験の一部を大学3年次に受験することができる取組や、夏期に行う採用選考と別に秋期～冬期に行う採用選考の実施、育児や介護のため退職した者を対象とした選考、教育実習の成果を活用した特別な選考など、教員採用選考をより受験しやすくしながら、質の高い教師を確保するための工夫が打ち出されている状況となっています。

## II. 教員採用選考試験の早期化等に関する課題点

今回の協議会では、上記のような状況認識のもと、教員採用選考試験の早期化について、文部科学省より、民間企業等の就職活動の状況を踏まえつつ、①地方公務員採用試験日程を目安として1～2カ月程度前倒しする、②国家公務員採用試験日程を目安として3カ月程度前倒しするという2つのパターンも示しつつ議論を行いました。各教育委員会や大学関係者との意見交換を進める中で、教員採用選考試験の早期化や複数回の実施に関して、解決が必要な具体的な課題点が主に以下のように挙げられました。

## 1. 教員採用選考試験の早期化について

- 試験実施時期を早めるためには、問題作成の作業スケジュールを現在よりも前倒して行わなければならないが、高校入試の実施や人事異動業務など他の業務との関係もあり、負担が重く対応が難しい。
- 現在、最終合格しても辞退する者をできるだけ抑える観点から、教員採用選考試験の日程を地域ブロックで統一しているところがある。その中で一部の教育委員会のみが試験日程を早めた場合、当該教育委員会の教員採用選考の受験者数は大幅に増えると考えられるが、他の教育委員会の採用選考を併願する受験者も多数出てくると考えられ、最終合格者のうち当該教育委員会での採用を辞退する者の数を見込むのが難しくなる。
- 前年度の教員採用選考に不合格となり、臨時講師等をしながら再び教員採用選考試験を目指している者にとっては、試験実施時期が現在よりも早まることは、学校の仕事に対応しつつ、試験対策をする期間が短くなり、新卒受験者等と比べて不利になってしまう。
- 現在、教育実習の実施時期は大学、受入れ先の学校種によって違いはあるものの、5～6月頃や8～10月頃の実施が多くなっている。このため、教員採用選考試験の実施時期を早めた場合、学生の教育実習の時期と重なる可能性がある。
- 上記の点と関連して、学生の教育実習の時期を教員採用選考試験の後ということにした場合、教師になるという意味が固まらない状態での受験につながってしまう可能性がある。

## 2. 教員採用選考試験の複数回の実施について

- 教員採用選考試験を複数回実施しても、一度不合格となった受験者が繰り返し受験するだけとなることが想定され、実施主体である教育委員会の大きな負担に見合った成果が得られない可能性がある。

- 大人数を収容できる試験会場を別日程で新たに確保しなければならない。また、これまでと比べ、別途、追加で問題作成が必要となるため、教育委員会にとって負担が大きい。
- 教員採用選考試験を複数回実施する場合、大学3年生でも受験できる仕組みとすることも有益と考えられる一方、大学4年生を中心とする受験生を想定した試験問題を課されるのは大学3年生の受験者にとって負担が大きい。

### Ⅲ. 課題点に係る関連方策

教員採用選考試験の早期化や複数回の実施に関し、Ⅱ. で挙げられた課題点に係る状況は、実際には地域ごとの実情により様々であると考えられますが、これらの課題点を解決するために考えられる関連方策を以下に示します。

課題点を乗り越えていくためには、以下に示した方策に関して、国、教育委員会、大学それぞれがこれまでの慣例にとらわれず必要な見直し等に柔軟に対応するとともに、相互に連携・協力することが大変重要です。

#### 1. 教員採用選考試験の早期化に関し挙げられた課題点と関連方策

##### 早期化に伴う問題作成に係る負担の増大について

- ➡ 令和6年度実施の教員採用選考試験に関しては、試験実施日（6月16日）を合わせていただける場合には、文部科学省より、教員資格認定試験（小学校）の問題を参考提供することが可能であり、これを利用していただければ、各教育委員会における問題作成に係る負担を一部軽減することができると考えられます。

希望する教育委員会における教員資格認定試験（小学校）問題の参考利用に係る留意点は次のとおりです。

- (1) 教員採用選考試験で活用する場合の配点や問題数について  
⇒ 教員資格認定試験における配点等に関わらず、教員採用選考試験で活用する場合には、配点や利用問題数等については各教育委員会で自由に決めていただいて結構です。
- (2) 参考提供する試験問題の秘密保持及び保管方法等について  
⇒ 具体的な内容は未定ですが、参考提供された試験問題の教育委員会における保管方法や秘密保持義務について、参考利用を希望する教育委員会と文部科学省の間で試験問題の扱いについて協定（取決め）を締結する予定です。
- (3) 教員採用選考試験に参考提供した試験問題を使用し、当該問題に誤りがあった場合の対応について  
⇒ 参考提供した問題をそのままの形で利用した場合も、改題として出題した場合も、いずれの場合でも各教育委員会が実施主体として実施した教員採用選考の中で出題された問題となりますので、説明責任等は利用した教育委員会において負っていただくこととなりますので、事前によく問題を確認した上で活用いただくことが必要です。
- (4) 教員資格認定試験（小学校）問題の参考提供を受けて実施する教員採用選考試験は、教員資格認定試験と同日に実施されるため、教員資格認定試験（小学校）の受験者が当該教員採用選考を受験する機会を失うことへの対応について  
⇒ 当該受験者については、教員採用選考に出願させた上で、教育委員会において教員採用選考の1次試験を一旦免除とし、2次試験を受験させた後、その結果と、教員資格認定試験の合否（発表は11月頃）を総合的に勘案いただき、教員採用選考の合否を決定する形（合格の場合は「追加合格」のようなイメージ）が考えられます。

#### 地域ブロックで教員採用選考試験の日程を統一している場合の対応について

- ➡ 周辺の教育委員会も含めた教員採用事務に混乱が生じないよう、地域ブロックにおいて、教員採用選考試験の実施日の早期化等について協議の上、地域ブロックとして統一的な対応をとっていただくことで懸念を解消することができると考えられます。

#### 臨時講師等をしながら受験する者への配慮について

- ➡ 各教育委員会において、教員採用選考試験の1次試験合格者等については、翌年度の当該試験を免除することにより、臨時講師等をしながら受験する者の試験負担に配慮する工夫が考えられます。
- ➡ 各教育委員会において、教職経験者を対象とした現職教員としての経験を適切に評価する特別選考を導入・活用する等により、臨時講師等をしながら受験する者の試験負担に配慮する工夫が考えられます。

#### 教育実習の実施時期との調整について

- ➡ 大学においては、それぞれの学生の状況に応じた柔軟な実習の履修形式が認められるよう、「学校体験活動」の積極的な活用等も含め、教職課程における教育実習の在り方の柔軟な見直しを検討するべきと考えます。その際、周辺自治体の教員採用選考の実施時期等の動向を把握した上で、適切な実施時期や期間の在り方を検討していただくことが必要です。  
具体的には、大学4年生の前半に3～4週間のまとまった期間で一度に教育実習を行うのではなく、例えば、通年で決まった曜日などに実施する教育実習や、1～2年生の早い段階から学校現場の活動を体験させるなど、大学の創意工夫により、学生が教職課程の中で柔軟に教育実習等を履修できる方法等を検討するべきと考えます。
- ➡ 教育委員会においては、所管の公立学校及び域内の私立学校や、教職課程を持つ大学に、教員採用選考試験の時期について早めに情報共有していただきたいと考えます。その際、教員採用選考試験と教育実習の時期の重なりが想定される可能性があることから、学生が適切な時期に教育実習等を行

うことができるよう、管下の市町村教育委員会や学校に柔軟な実習受入れの理解を求めるとともに、協力を依頼することが必要です。

また、受入れ学校の負担を軽減するために、教育委員会が中心となって、地域の周辺大学からの実習受入れの調整的機能を果たすことなども考えられます。

- ➡ 受入れ学校においては、学生や大学から依頼する実習の時間や期間に関し、学校体験のような活動や、教育実習の分割・分散化による短期間の実習についても、学生が児童生徒や学校運営にもたらす良い影響にも目を向け、業務上の支障がない範囲で積極的に受け入れていただきたいと考えます。
- ➡ 教員採用選考試験の合格後の期間を有効に活用して、大学における学修との両立にも配慮しながら、新規採用者の不安を取り除くための採用前研修として学校現場における実習を充実させることも考えられます。

## 2. 教員採用選考試験の複数回の実施に関し挙げられた課題点と関連方策

### 教員採用選考試験を複数回実施する負担に見合う成果について

- ➡ 各教育委員会において、追加的に行う教員採用選考試験に関しては、募集する学校種を絞ることや、大学での推薦等を前提とするなど各教育委員会で必要な人材を獲得するために対象を限定して実施することにより、適正な規模で効果的な選考を行うことができると考えられます。

### 追加的な試験会場の確保、問題作成に係る負担について

- ➡ 上記の通り、追加的に行う教員採用選考試験は対象を限定するなどにより適正な規模で実施することが考えられ、試験会場はそれに見合った規模の会場を各教育委員会において中長期的な見通しを持って計画的に確保していただくべきと考えます。

また、複数回実施に伴い、追加的に必要となる試験問題については、文部科学省の本年度委託事業において、冬期に実施する教養試験問題を作成する予定であり、これを積極的に活用していただくことで、各教育委員会にお

ける問題作成に係る負担軽減を図ることが可能です。

複数回実施に伴い、追加的に行う試験に係る問題の内容について

- ➡ 上述の文部科学省の本年度委託事業により作成予定の教養試験問題は、大学3年生も受験可能な、より一般的な内容の問題とする予定です（専門科目等に係る試験は4年生の時に受験することを想定）。なお、同問題を活用した追加的に行う試験について、大学4年生等も受験可能とすることもあり得ます。

IV. 今後の方向性 ～教師志願者の増加に向けて～

- I. で述べた近年の教員採用選考における採用倍率の低下や受験者数の減少、民間企業等の就職活動の動向を踏まえると、教師志願者の増加を図り、質の高い教師の確保に繋げていくために、教員採用選考試験の実施方法に関し、早期化や複数回の実施等の工夫改善を進めていくという方向性を国・教育委員会（学校現場含む）・大学をはじめ全ての関係者で共有することが重要です。
- 公立学校教員の採用選考の実施主体である各教育委員会においては、まずは、来年度実施の教員採用選考の第1次選考の実施日程について、6月16日を一つの目安（標準日）としてできるだけ前倒しを積極的に検討いただき、また、あわせて最終合格発表についても前倒しを検討いただきたいと考えています。複数回実施についても取組を進めるべきであると考えます。

これを実行するに当たっては、今回の協議会の中で示されたように、様々な課題点がありますが、Ⅲ. で示した方策を踏まえつつ、国・教育委員会・大学それぞれが役割を果たすとともに、相互に連携・協力し、教員採用選考試験の早期化や複数回の実施等に係る課題点を解消していくことが必要です。
- 教師志願者の増加に向けては、今回の協議会で主に議論した早期化や複数回実施だけでなく、文部科学省において整備した教育人材の募集情報を



まとめたポータルサイトや、各教育委員会における教師の仕事に対する関心を高めるイベント等の取組を通じて、高校生段階へのアプローチも含め、教師の仕事の価値ややりがいを実直に発信していくことも重要です。文部科学省としてもこうした取組を支援していきます。

- また、受験者数の増加につなげるためには、教員採用選考試験の早期化や複数回実施等の対応に加え、学校における働き方改革の一層の推進や教師の処遇改善が求められます。

学校における働き方改革は何か一つやれば解決するといったものではなく、国・学校・教育委員会が連携し、それぞれの立場において、教師が教師でなければできないことに全力投球できる環境を整備することが重要です。本年4月に文部科学省において公表した令和4年度実施の勤務実態調査の速報値では、在校等時間は、前回調査（平成28年度）の結果と比べ、平日・土日ともに全ての職種で減少したものの、依然として長時間勤務の教師が多い状況となっています。文部科学省では、今後さらに詳細な分析を行いつつ、中央教育審議会において、働き方改革、処遇の改善、学校の指導・運営体制の充実に関する具体策について一体的に検討していくこととしています。

- 加えて、質の高い教師を確保する観点からは、改正地方公務員法により、令和5年度から教師を含む地方公務員の定年が2年に1歳ずつ65歳まで段階的に引き上げられることへの計画的な対応も重要です。

定年を引き上げる年度においては、退職者数が減少することになりますが、年度によって新規採用数が大きく増減することなく、安定的に教師の新規採用数を確保することができるよう一定期間において採用数を平準化させる等の計画的な教員採用が重要です。その際、各教育委員会の実情に応じて、退職者分の枠とは別に、これまで臨時講師等の非正規教員に活用している枠を、正規教員に置き換えることとする等、正規教員の採用枠を拡大する取組も考えられます。

こうした取組を計画的に進め、可能な範囲で教職員に占める非正規教員の割合を抑制していくことは、現在、全国的な課題となっている「教師不足」の問題が、産休・育休取得者の急増や特別支援学級の見込み以上の増加などによる臨時講師等の需要増加に対する供給不足が主な要因であることを考えれば、中長期的に質の高い教職員集団を形成していくことにつながる重要

な取組であると考えられます。

- 質の高い教師を確保する、そのために教師志願者の増加を図る取組は今回の協議会で議論した範囲のことだけで十分なわけではなく、引き続き、新たな取組を重ねていくことが必要です。

今回、早期化や複数回実施の方向性を示した教員採用選考の工夫改善についての議論もこれで完結ではありません。各教育委員会がそれぞれ試験問題を作成・実施している第1次選考に係る負担の軽減を図り、第2次選考でのより丁寧で人物重視の選考作業や、学校現場の教育課題へのよりきめ細かな支援に注力できるようにする観点からも、文部科学省として、平成30年度に教職員支援機構が実施した調査研究で示された検討課題を踏まえつつ、公立学校教員採用選考に係る第1次選考の全国共同実施の実現可能性について調査・検討を進める必要があると考えています。

